

#### 4. 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立について (1/2)

※①「仕事優先」+②「家庭、地域、個人の生活にも携わるが仕事優先」・・・仕事中心の生活バランス

③「家庭生活、地域・個人の生活と仕事を同じように両立」・・・全て両立

④「仕事にも携わるが、家庭生活、地域・個人の生活を優先」+⑤「家庭、地域・個人の生活優先」・・・家庭中心の生活バランスと読み換えます。

##### 問8 (1) (2) 生活バランスの希望と現実

###### <希望する生活バランス>

総計：全て両立が36.2%で希望者が一番多く、続いて、家庭中心の生活バランスは30.3%、仕事中心の生活バランスは、27.4%だった。なお、10代は計9名（うち就業者3名）しかいないため、総計の結果には反映しているが、性・年代別では結果を省略する。

◎男性20代・・・全て両立の生活バランスが最も多い。(43.8%)

◎男性30~60代・・・仕事中心の生活バランスが最も多い。  
(30代38.4%、40代47.1%、50代42.7%、60代42.4%)

◎女性20代・・・全て両立(45.0%)と家庭中心の生活バランス(35.0%)がほぼ占めており、仕事中心の生活バランス希望者は全くいなかった。

◎女性30代・・・家庭中心の生活バランスが最も多い。(30代51.3%)

◎女性40・50代・・・全て両立の生活バランスが最も多い。(40代51.4%、50代47.5%)

◎女性60代・・・全て両立(35.8%)と家庭中心の生活バランス(32.0%)が多かった。

###### <現実の生活バランス>

総計：仕事中心の生活バランスが約6割(59.9%)、全て両立は1割程度(9.9%)。

男性20~60代・・・仕事中心の生活バランスが最も多く、全年代で過半数を占めていた。  
(20代75.1%、30代84.6%、40代82.4%、50代77.9%、60代57.7%)  
前回よりも仕事中心の割合はどの年代も増え、特に、20・30代では10ポイント以上増加している。

女性20代・・・仕事中心の生活バランスが最も多い(35.0%)

女性30代・・・家庭生活中心の生活バランスが最も多い(48.6%)。

女性40~50代・・・仕事中心の生活バランスが最も多い(40代60.0%、50代55.0%)

女性60代・・・家庭生活中心の生活バランスが最も多い(60代54.7%)

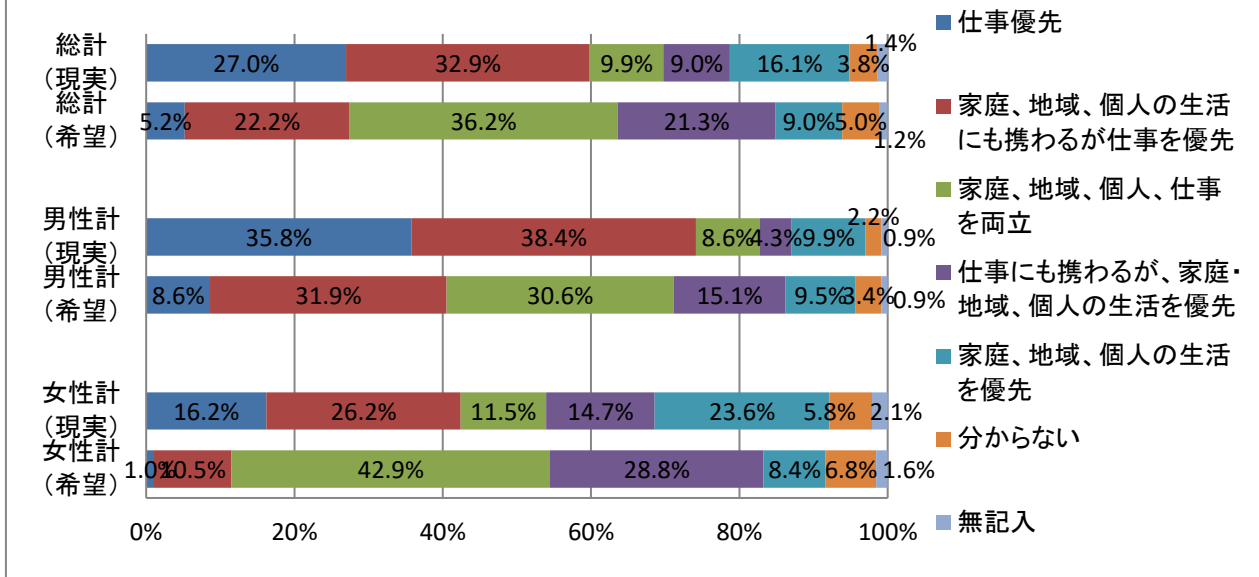
###### ※生活バランスの希望と現実が一致している人の割合

総計では35.3%の人が一致している。年代が上がると希望と現実が一致している人の割合が増加する。

##### 問9 生活のバランスへの満足度

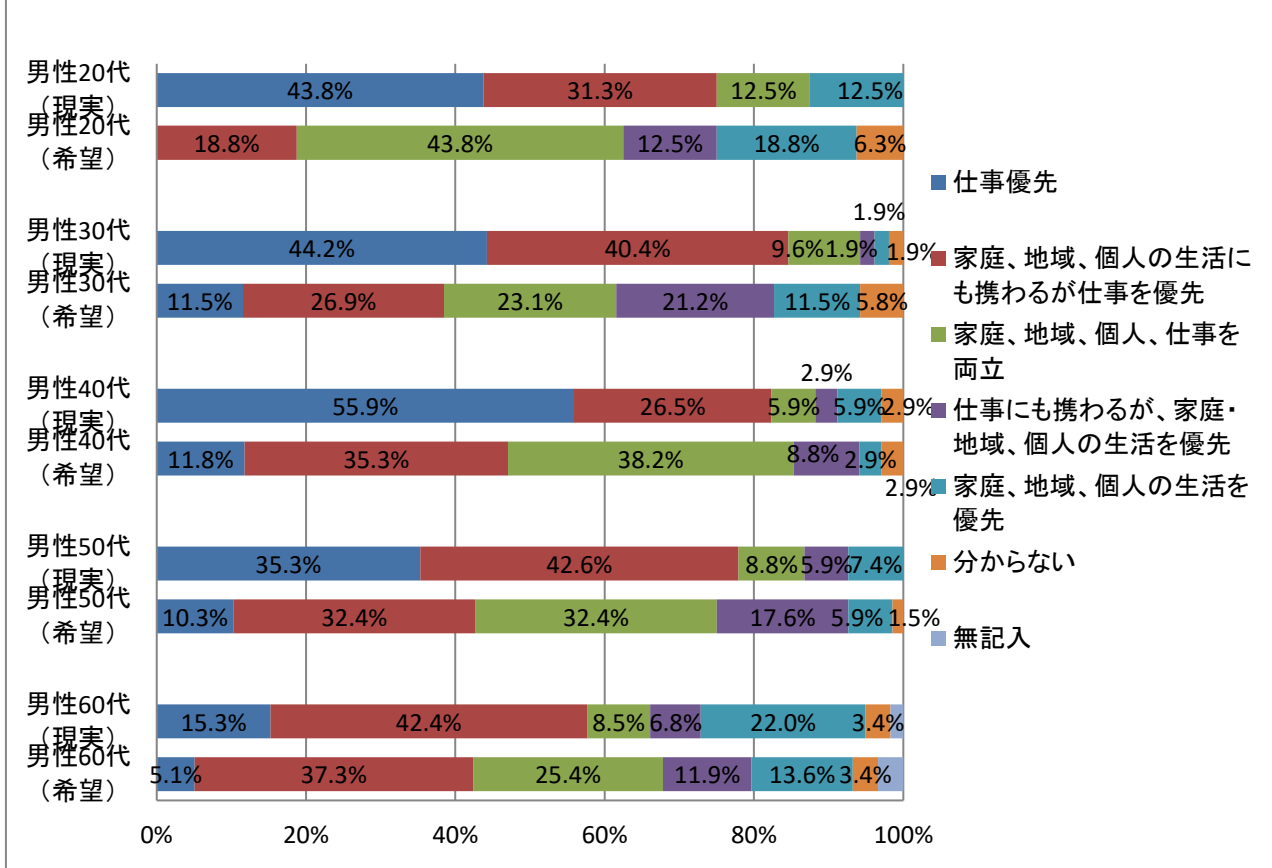
仕事と生活の両立ができている人がどの生活バランスよりも満足度が高いことがわかる。また、男性は家庭より仕事重視の方がやや満足度が高く、女性は仕事より家庭重視の方が高い。

## 問8 生活現実の生活バランス(総計)



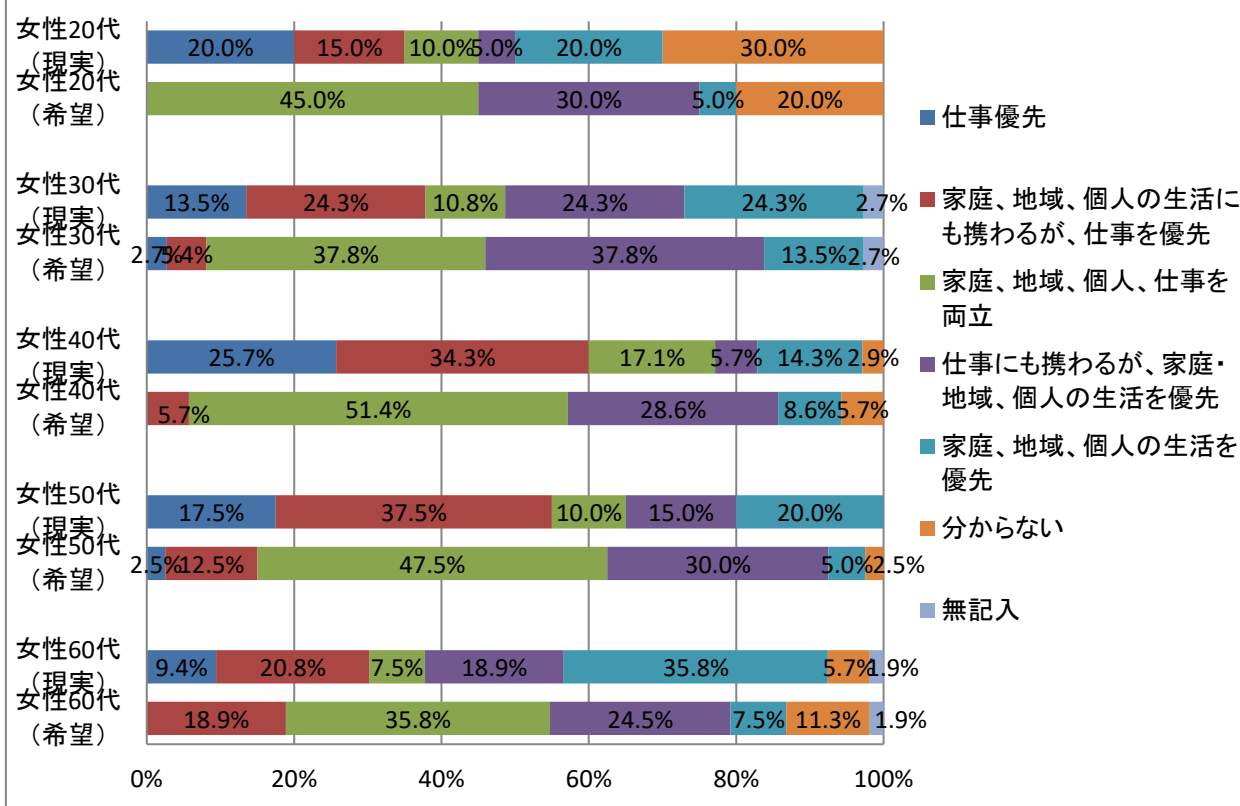
男性：20代では、両立派・家庭中心希望者が多く、40代でも仕事中心希望者も多いものの、両立を希望する人も4割いる。しかし、現実には仕事を中心の生活に偏っている。

## 問8 希望と現実の生活バランス(男性)



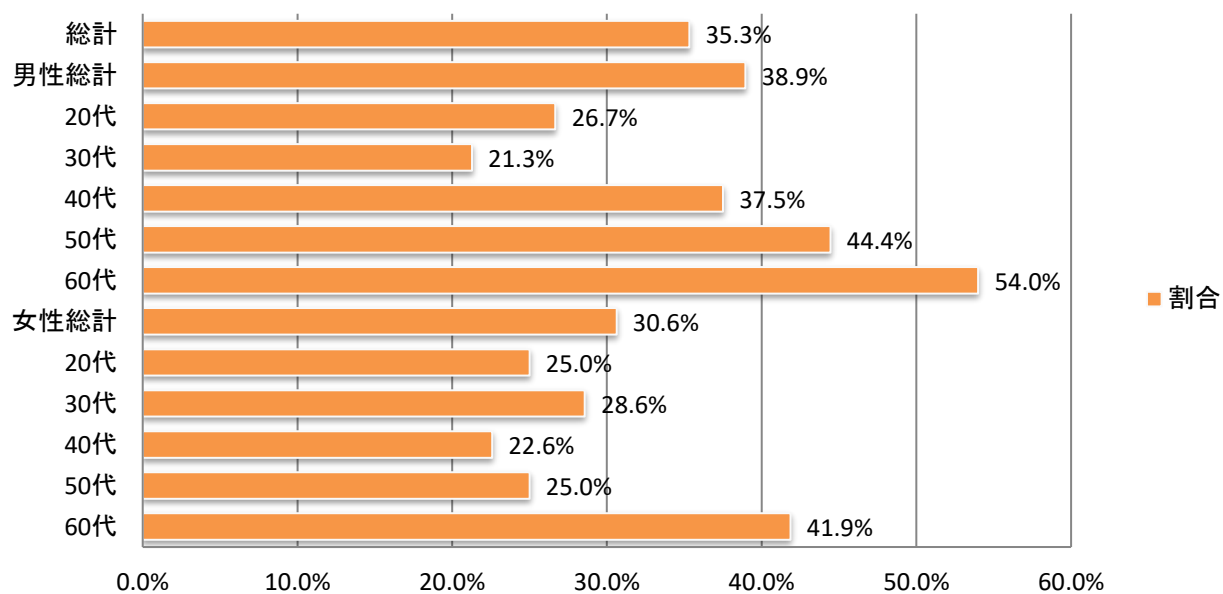
女性：男性に比べて両立希望者が多い。また、仕事より家庭中心の生活を希望している。40・50代は仕事中心の生活を送っている人が多い。

## 問8 希望と現実の生活バランス(女性)

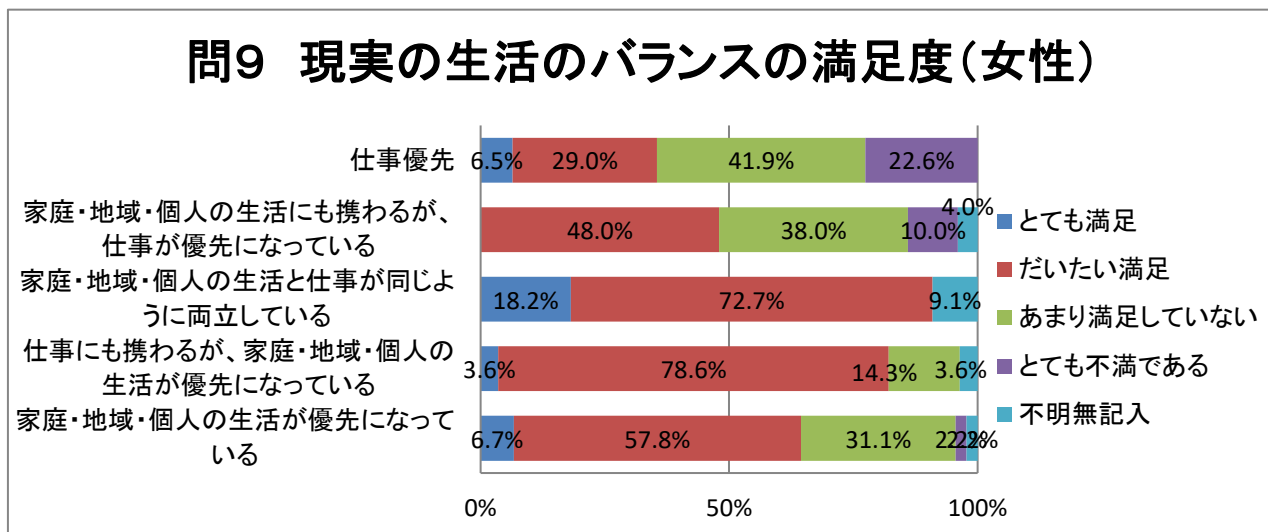
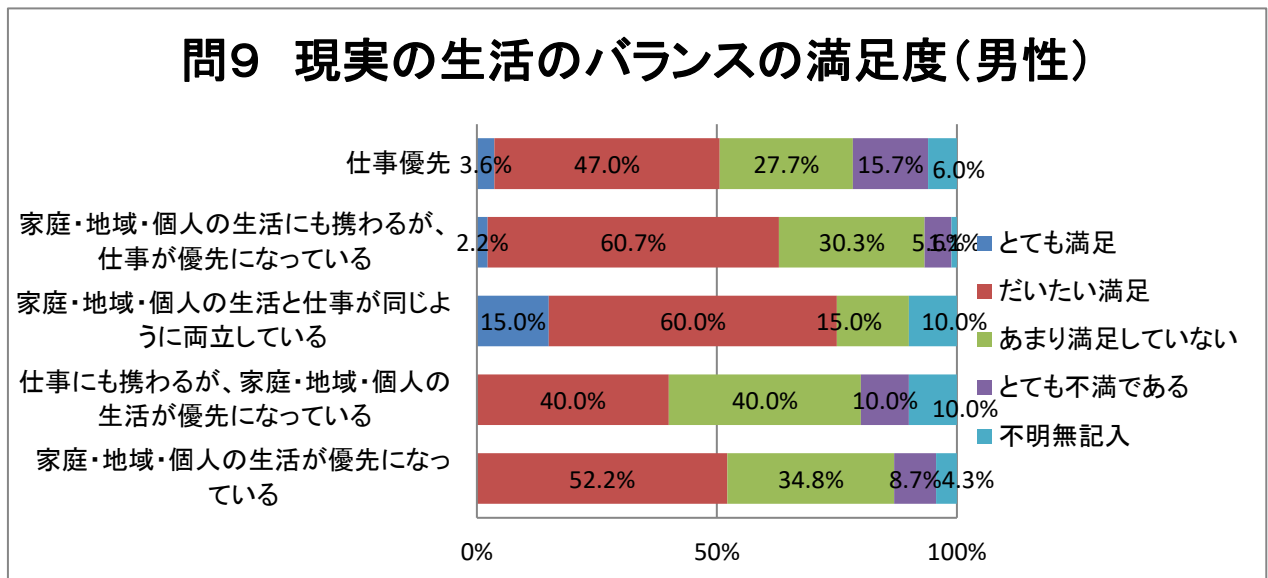
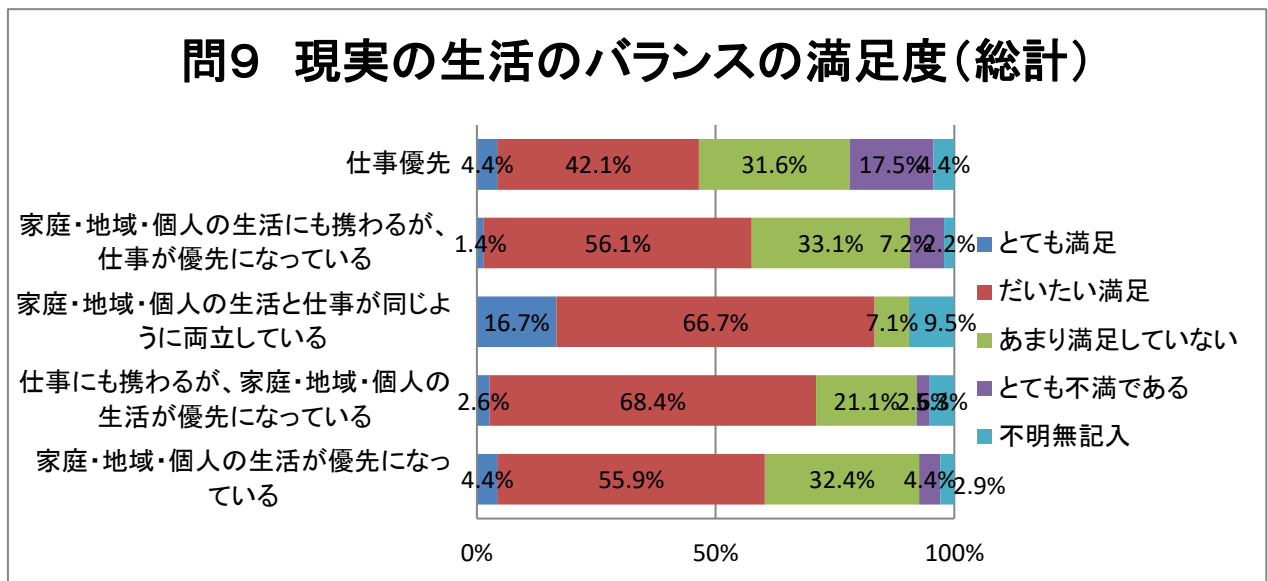


◎ 希望と現実が一致している人の割合 (分からない、不明、無記入の回答者を除く N=368)

## 生活バランスの希望と現実が一致している人の割合



問9 現状に対してどのように感じますか？（問8で分からない、不明・無記入を除く）



#### 4. 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立について (2/2)

##### 問 10 社会活動をしている人の割合

「参加している」＋「時々参加している」を合わせると、社会活動に参加している人の割合は52.0%で、前回調査より8%増加。平成12年度からの減少傾向を食い止めた。

※ (1) 「参加している」＋ (2) 「時々参加している」・・・参加している

(3) 「ほとんど参加していない」＋ (4) 「全く参加していない」・・・参加していない

- 男性20～40代・・・「参加していない」方が多い。  
(20代81.3%、30代65.4%、40代55.9%)
- 男性50～60代・・・「参加している」方が多い。(50代67.6%、60代69.5%)
- 女性10代～30代、50代・・・「参加していない」方が多い。  
(20代以下76.9%、30代51.3%、50代50.0%)
- 女性40代、60代・・・「参加している」方が多い。(40代60.0%、60代64.2%)
- 「参加していない」が最も多いのは、男性20代(81.3%)と女性20代以下(76.9%)で、女性20代以下については、「参加している」と回答した人は全くいなかった。

##### 問 11 社会活動の種類

- 総計では町内会・自治会などの地域活動(40.0%)、青年団体・女性団体・老人クラブなどの団体活動(26.8%)が上位を占める。
- 年代別に見ると、10～30代で町内会・自治会などの地域活動に参加する人の割合が多く、50・60代で各種団体活動が増える。女性は30～40代でPTA活動、青少年グループの世話など青少年の健全育成活動に参加する人の割合が増える。

##### 問 12 社会活動に参加しない理由

- 総計では、「仕事が忙しい」(27.0%)、「活動に関心がない」(28.1%)が半数以上(55.1%)を占める。
- 女性に多く見られる理由として「家事・育児・介護で忙しい」が見られる。
- 特に社会活動に参加している人の割合が低かった男性20代は、「関心がないから」(46.2%)が最も多くなっており、また、女性20代も「関心がないから」(40.0%)が最も多いが、「家事育児・介護で忙しい」(20.0%)、「一緒に参加する仲間がない」(13.3%)も高い割合を占めている。

##### 問 13 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立に必要なこと (上位3位)

総計：育児・介護休暇を利用しやすい職場環境の整備

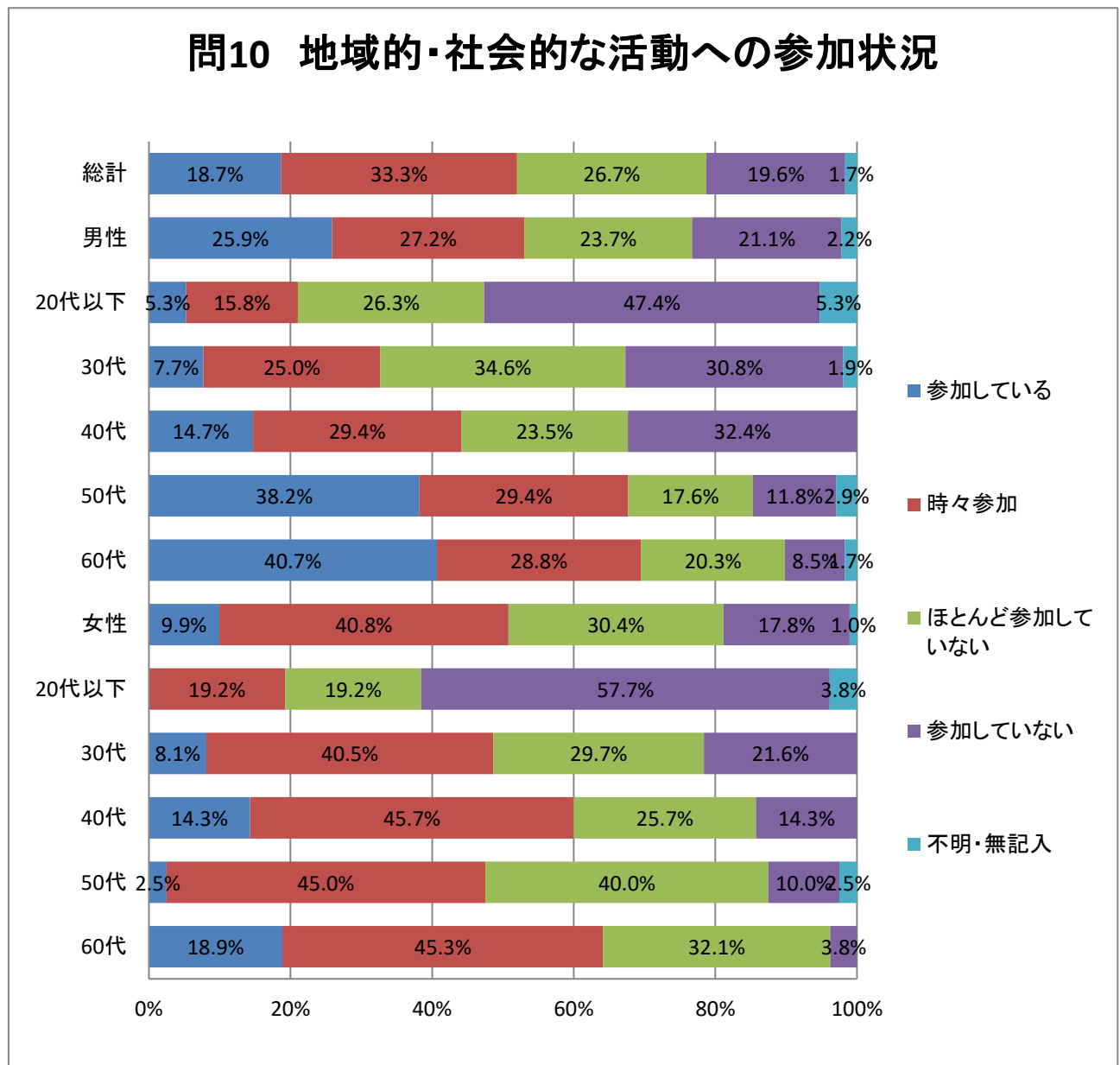
労働時間の短縮・有給休暇の促進

保育施設や介護サービスの充実

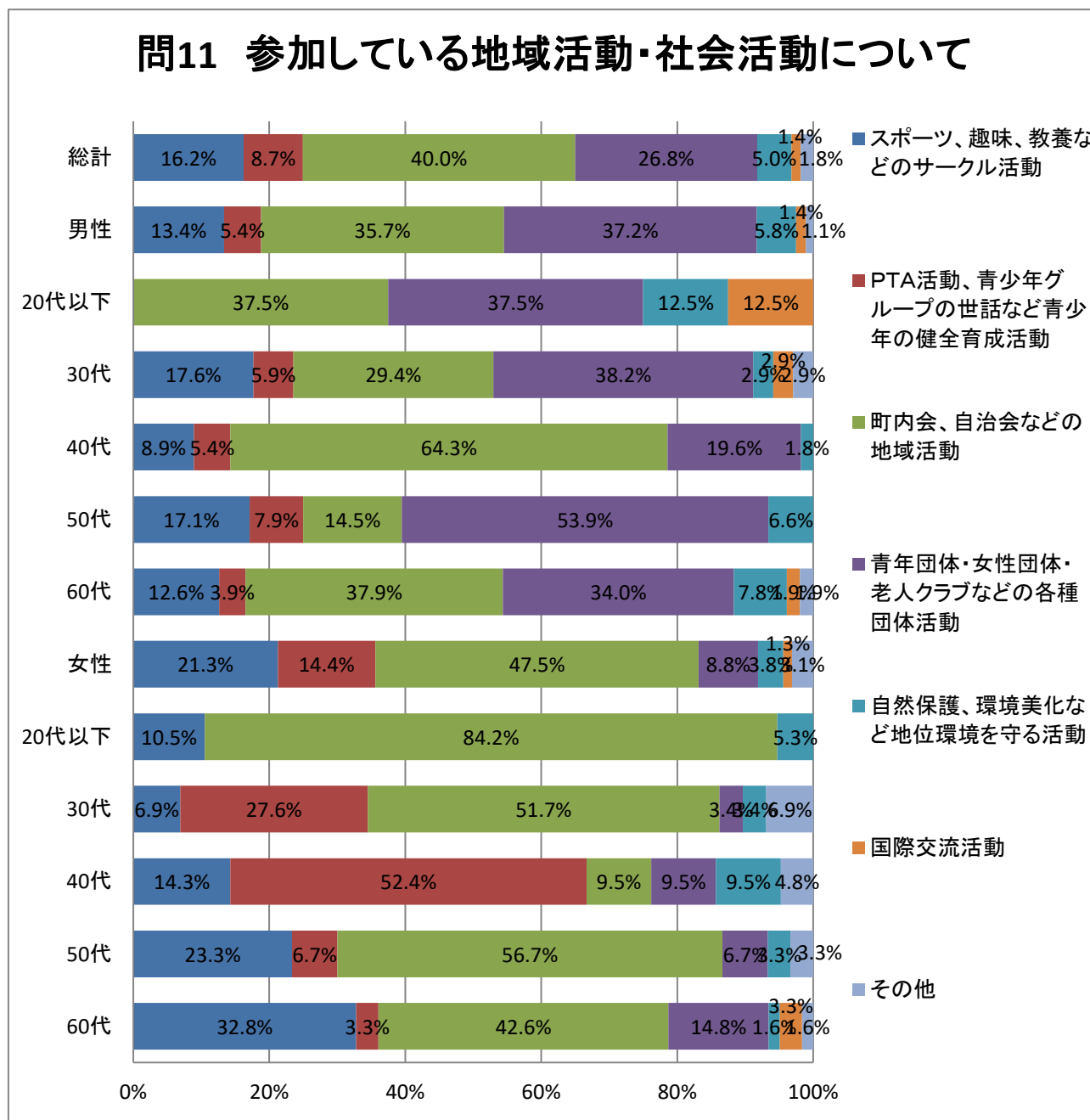
男性：総計と同じ(上位から順に )

女性：総計と同じ(上位から順に 67.7%、50.6%、46.5%)

問10 仕事以外に地域的・社会的な活動をしていますか？

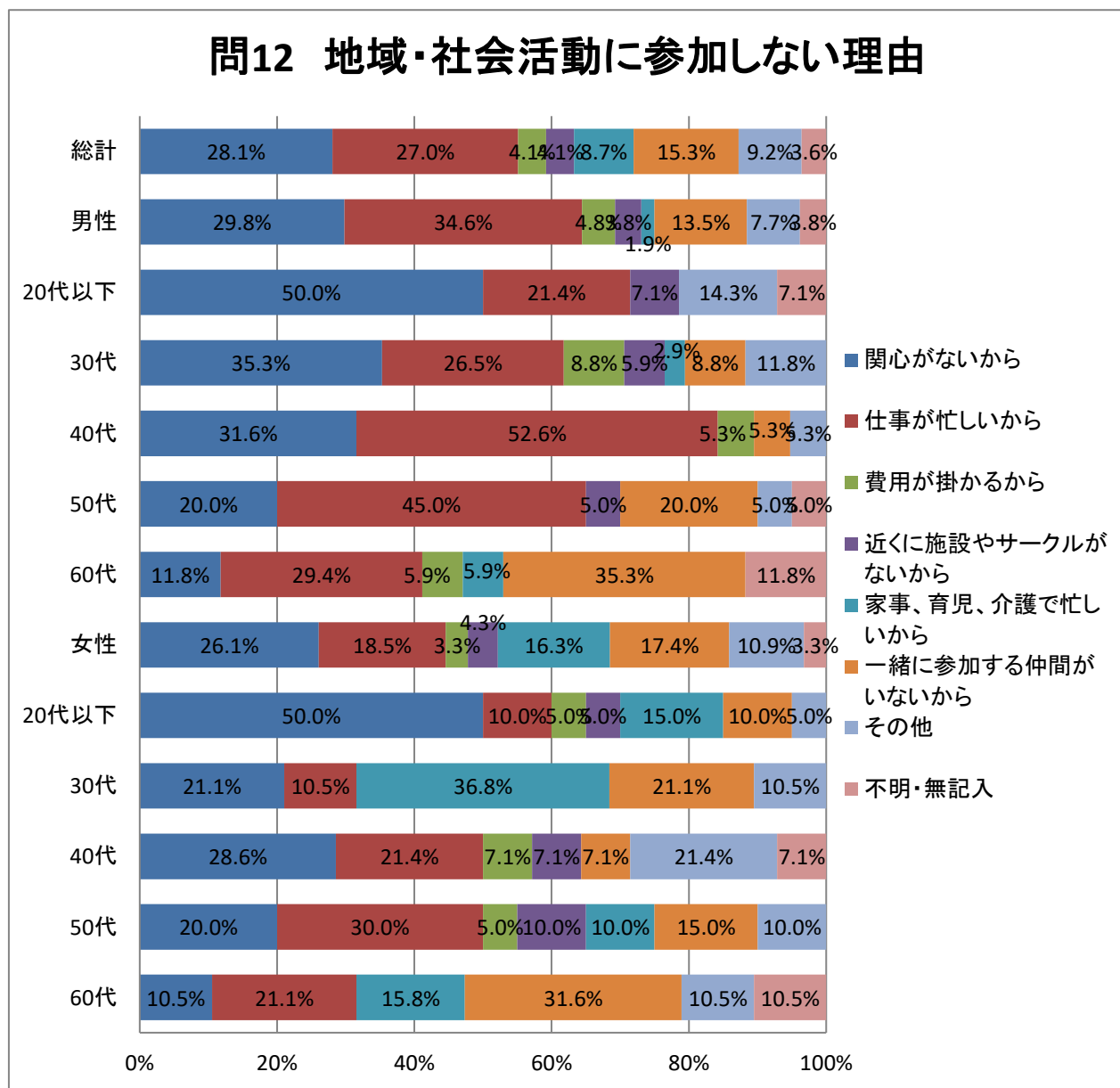


問11 参加している地域・社会活動について、あてはまるもの全部に○をしてください。(問10で(1)参加している(2)時々参加していると回答した人のみN=220)



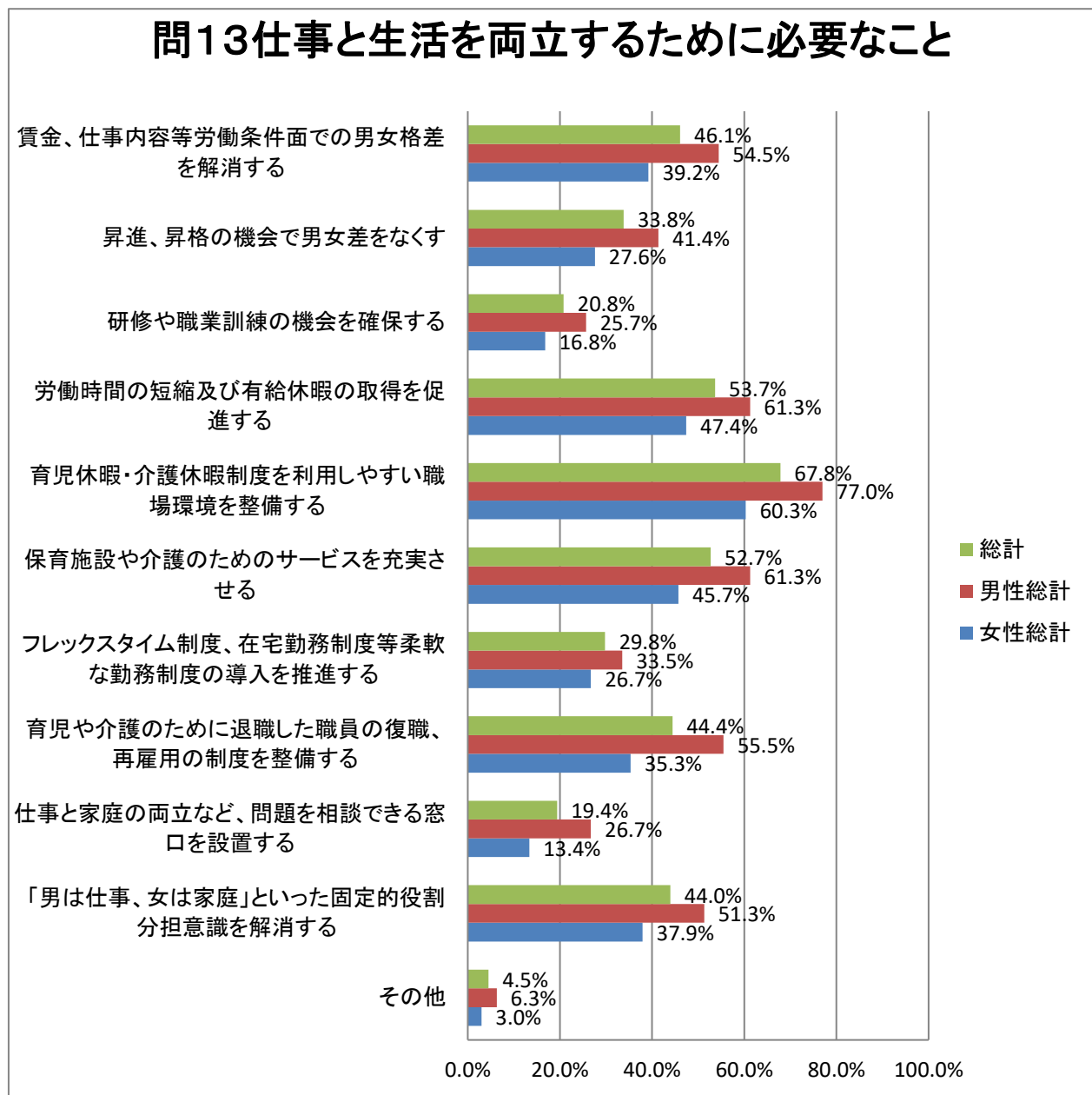
問12 地域活動に参加しないのはどのような理由からですか？

(問10でほとんど参加していない、参加していないと回答した人のみ N=196)





問13 仕事と家庭生活を両立できるようにするために必要だと思うことは？



## 5. 男女間の暴力について

問 14 男女間の暴力について知っていること

- DV（ドメスティック・バイオレンス）の定義（94.8%）、暴力の種類（87.9%）については、8割を超える人知っており、DV 被害者を支援する法律（60.0%）についても周知が進んでいることが窺える。一方、相談窓口（49.6%）、被害者保護（57.0%）については知っている人が半数前後である。
- 年代別では、男女とも 10～30 代の若い世代で知っている分野と知らない分野の差が大きくなっている。

問 15 男女間の暴力をなくすために必要なこと（上位 3 位）

総計：家庭や学校で子どもに対し命の大切さや男女平等について教育する。（69.3%）

加害者への罰則強化。（61.2%）

法律や制度を改正して加害者の取締りを強化する。（58.9%）

男性：家庭や学校で子どもに対し命の大切さや男女平等について教育する。（66.8%）

加害者への罰則強化。（63.8%）

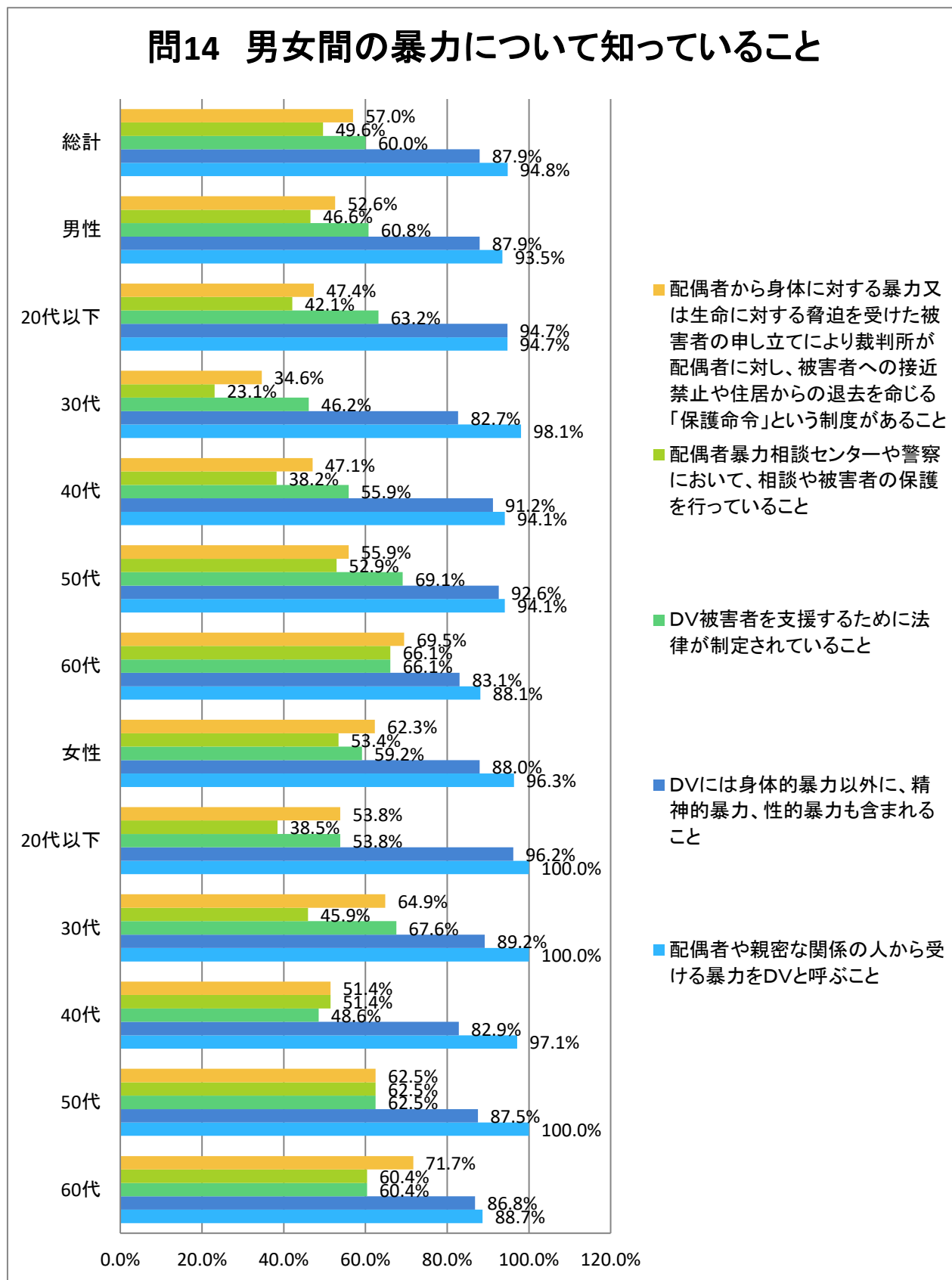
法律や制度を改正して加害者の取締りを強化する。（58.6%）

女性：家庭や学校で子どもに対し命の大切さや男女平等について教育する。（66.8%）

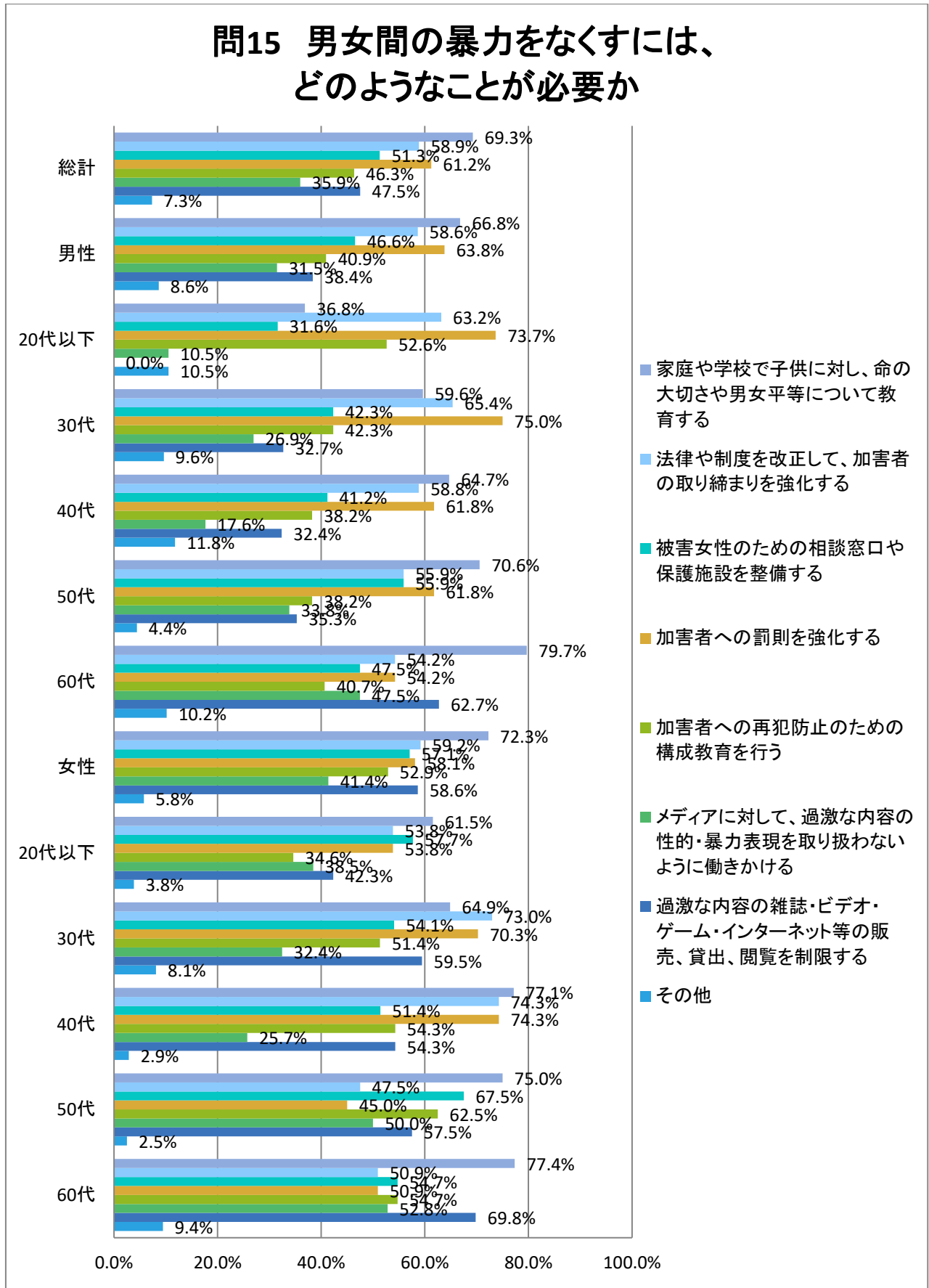
法律や制度を改正して加害者の取締りを強化する。（63.8%）

被害女性のための相談窓口や保護施設を整備する。（58.6%）

問14 男女間の暴力に関して知っていること



問15 男女間の暴力をなくすには、どのようなことが必要か？



## 6. 男女平等について

### 問 16 分野別男女平等について

- 男女対等であるという回答が多かった順
  - ・ 学校教育 (56.0%)
  - ・ 法律・制度 (28.0%)
  - ・ 家庭生活 (23.6%)
  - ・ 地域社会 (23.0%)
  - ・ 職場 (17.0%)
  - ・ 政策決定 (14.0%)
  - ・ 社会通念、慣習、しきたり (7.0%)
- 前回調査（平成 22 年）と比べて男女対等であるという回答が増加した分野はなく、すべての分野で回答が減少した（7 分野）
  - ・ 学校教育（2.8 ポイント）、法律・制度（6 ポイント）、家庭生活（2.2 ポイント）、地域社会（6.6 ポイント）、職場（0.1 ポイント）、政治・政策決定（6.8 ポイント）、社会通念・慣習・しきたり（1.1 ポイント）
- 男女対等であるという回答の割合は、男女で差が見られる。

	男性 (%)	女性 (%)
家庭	29.7	16.2
職場	19.8	14.1
学校教育	57.3	53.4
地域社会	31.0	13.1
法律制度	33.6	21.6
政策決定	20.7	5.8
社会通念	9.5	4.7

### 問 17 男女が平等になるために重要と思われるもの（上位 3 位）

総計：社会的なしきたりや慣習の見直し（39.7%）

男性の家事・育児・介護・地域活動への参画（33.3%）

女性の経済力の向上（22.5%）

男性：社会的なしきたりや慣習の見直し（44.4%）

男性の家事・育児・介護・地域活動への参画（26.3%）

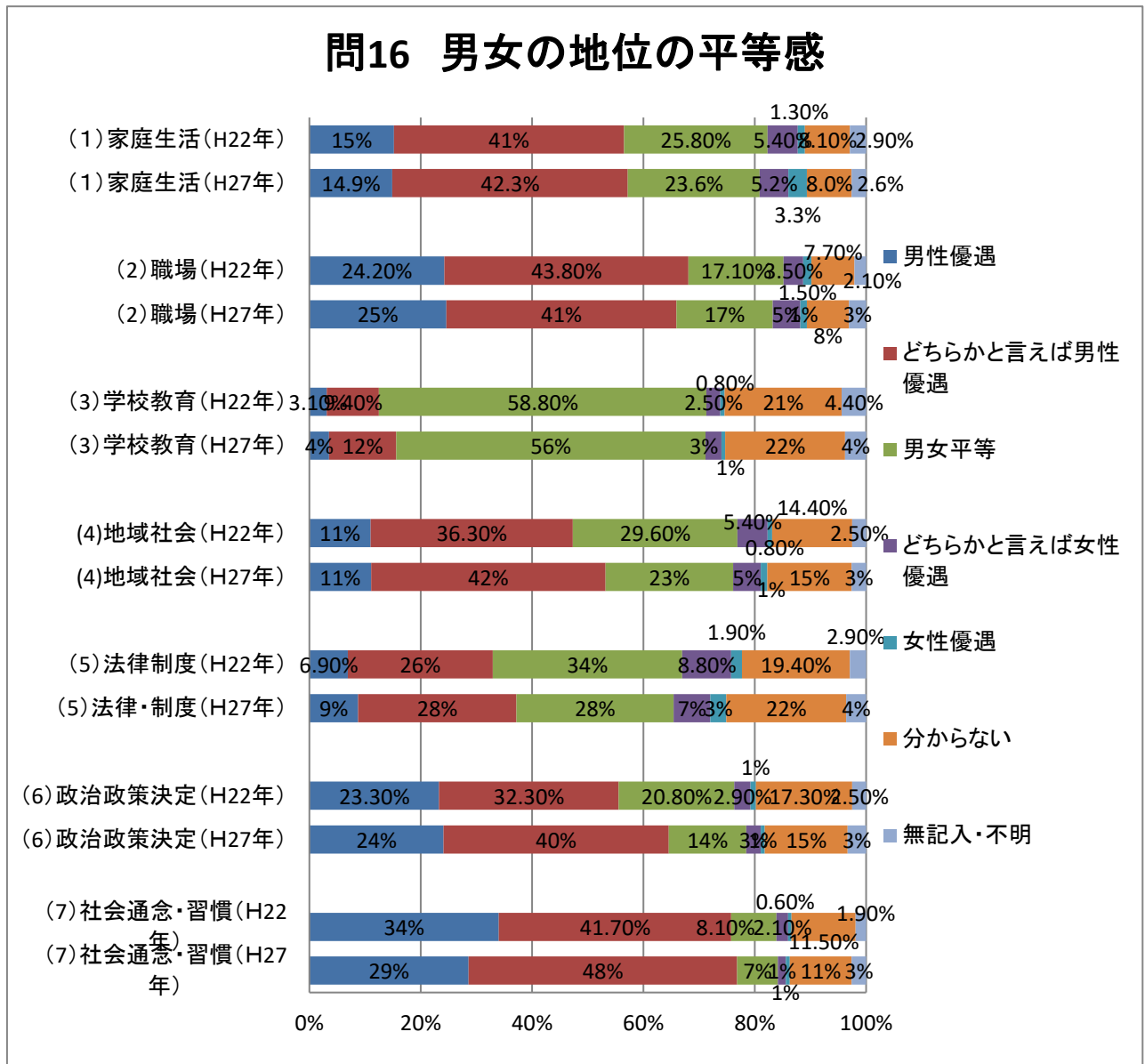
子どもの時からの男女平等教育（22.0%）

女性：男性の家事・育児・介護・地域活動への参画（41.9%）

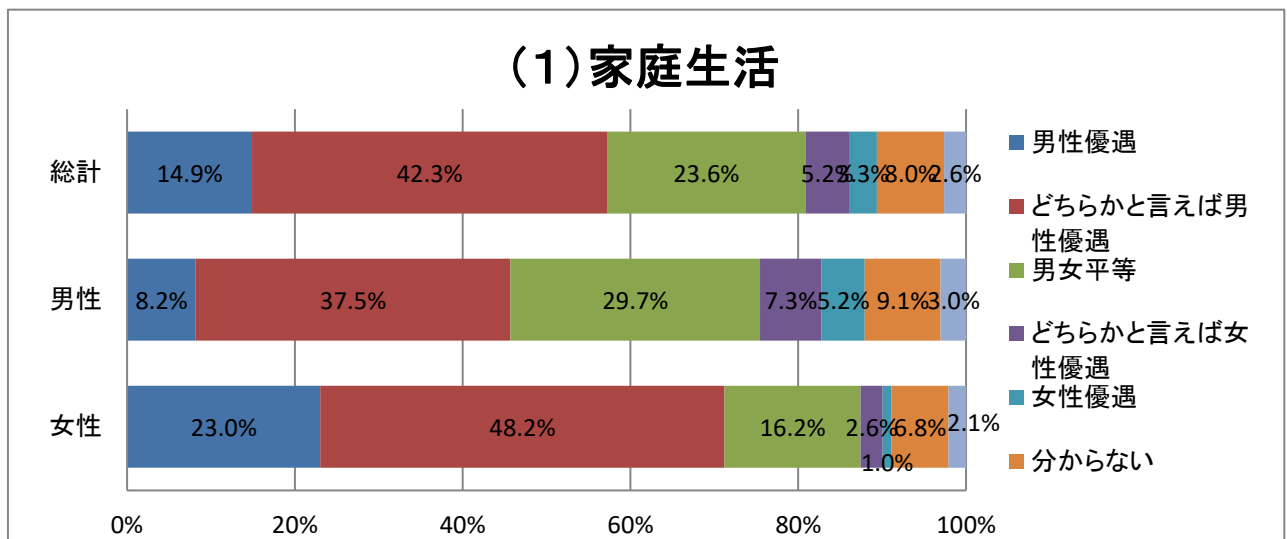
社会的なしきたりや慣習の見直し（34.0%）

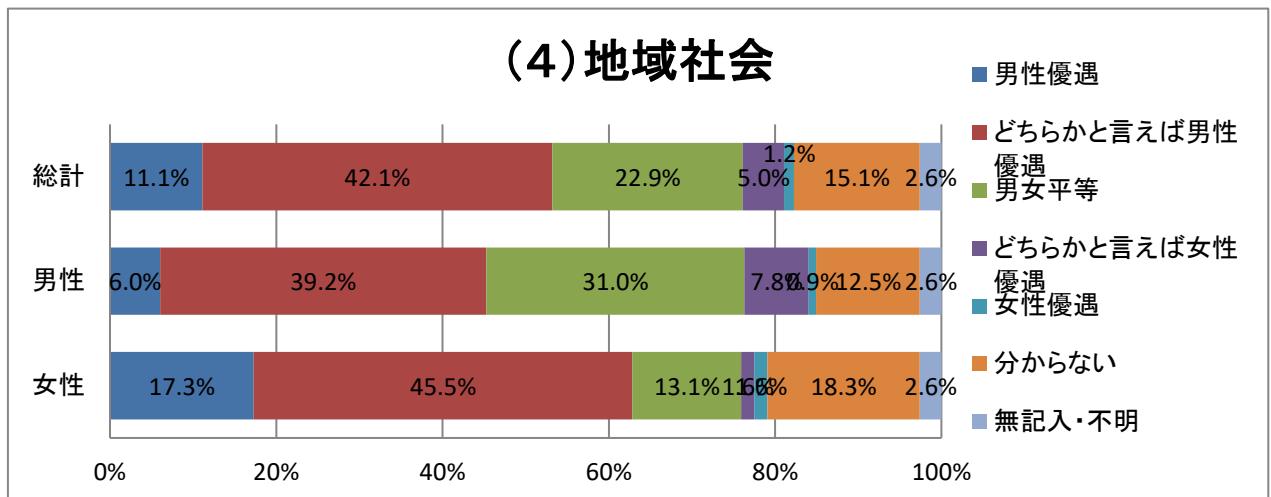
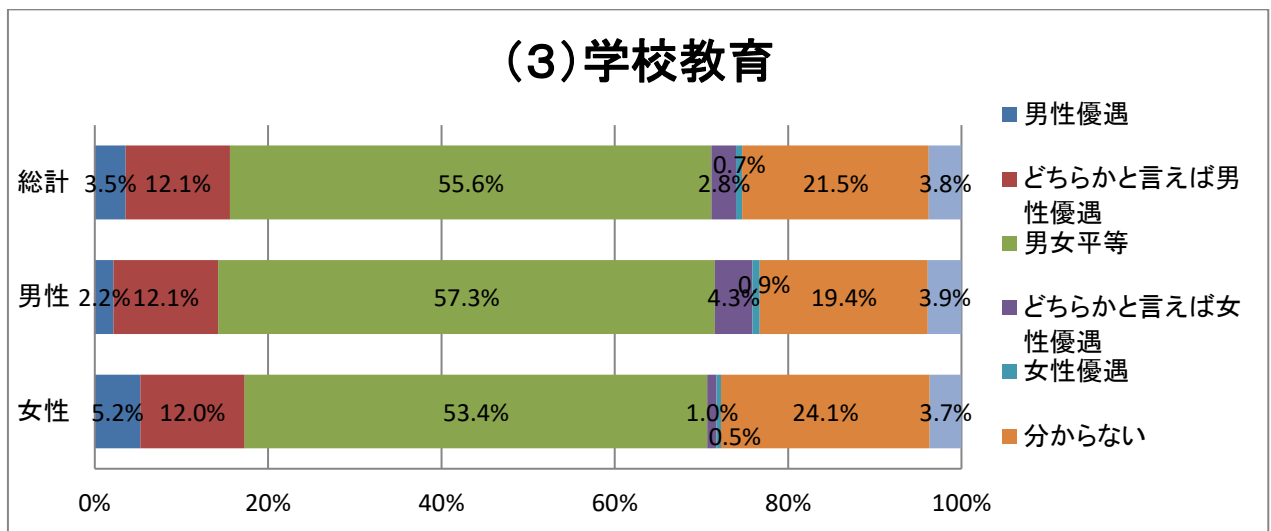
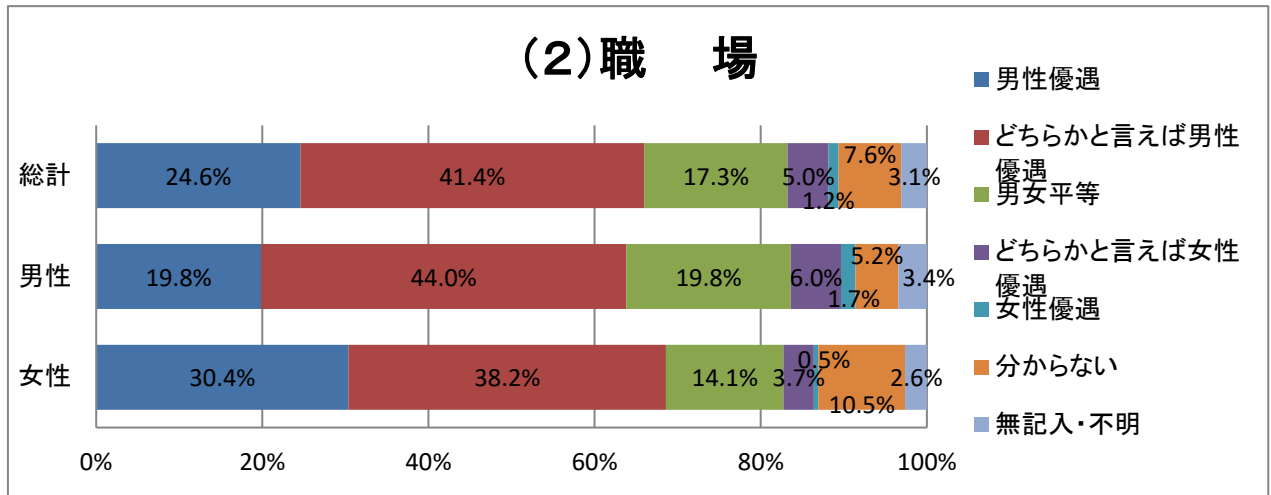
女性の経済力の向上（26.2%）

問 16 次の分野で男女の地位が対等になっていると思うか？

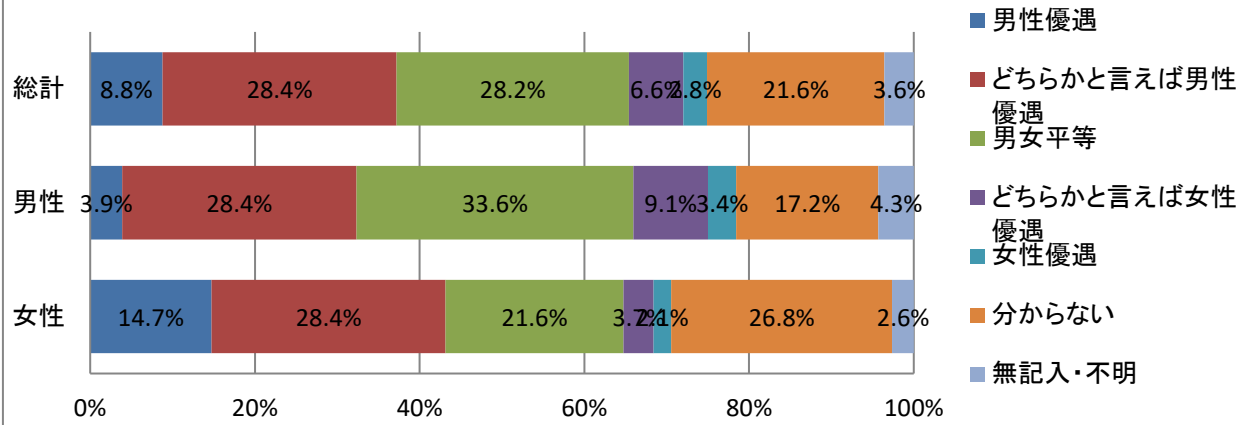


◎以下、問16の各項目ごとに男女別でグラフをまとめました。

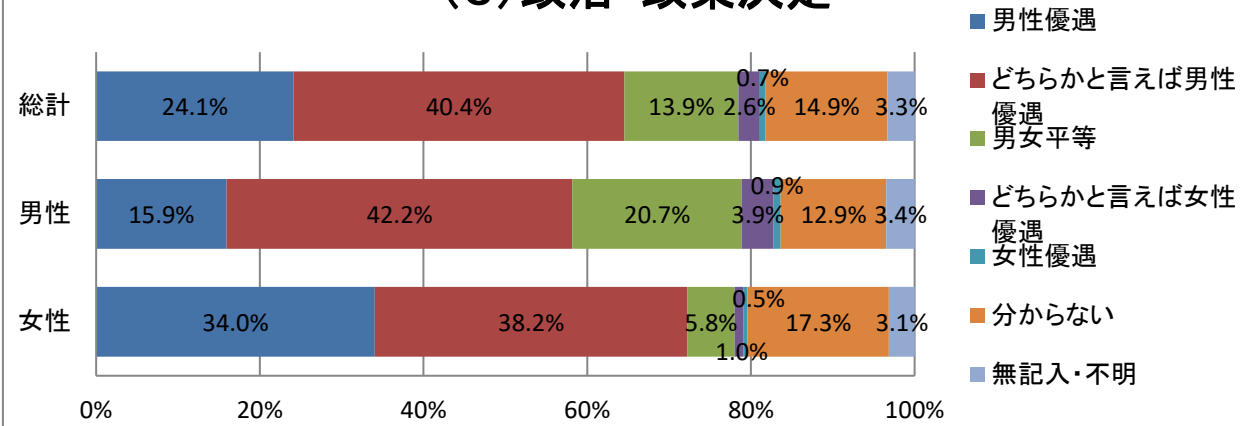




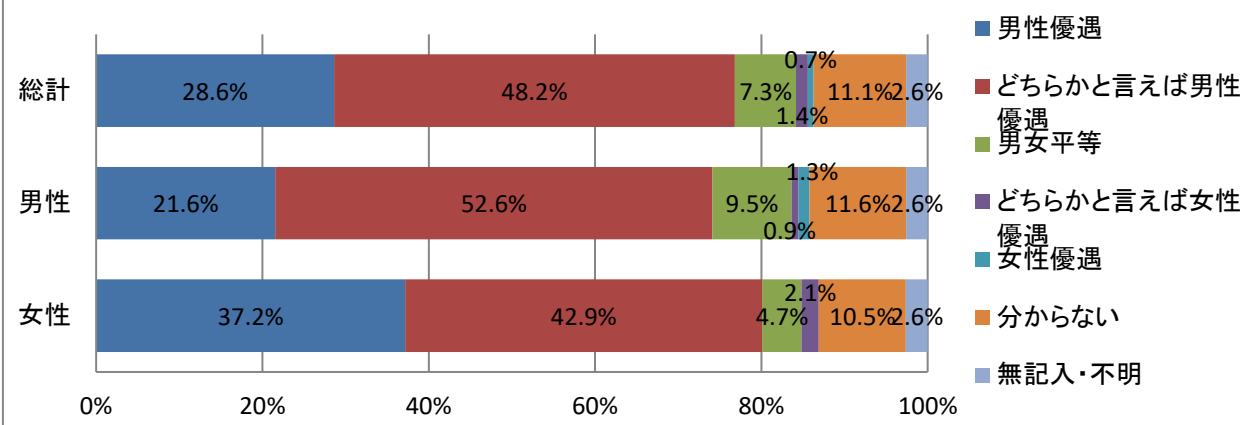
### (5) 法律制度



### (6) 政治・政策決定

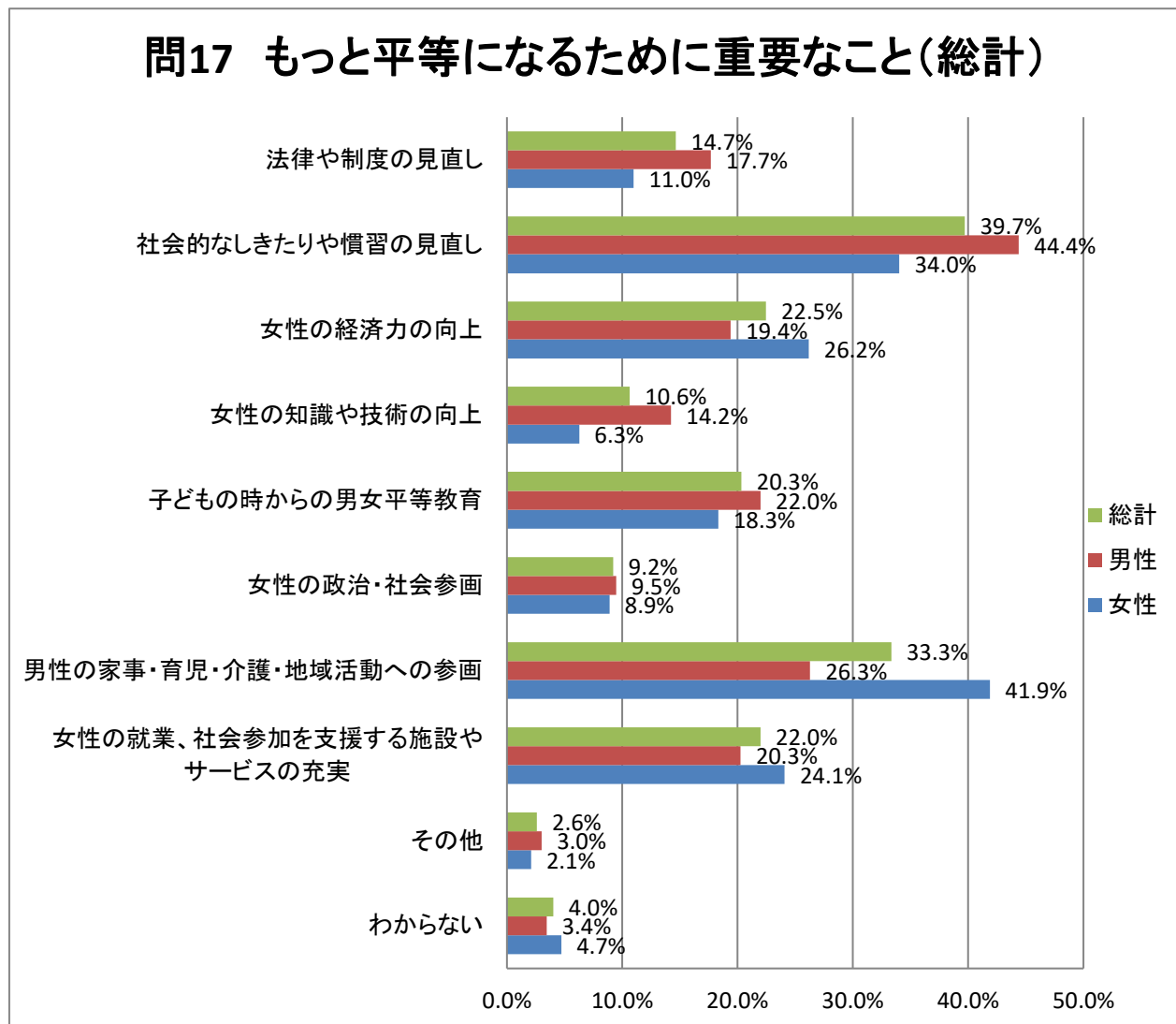


### (7) 社会通念・慣習・しきたりなど

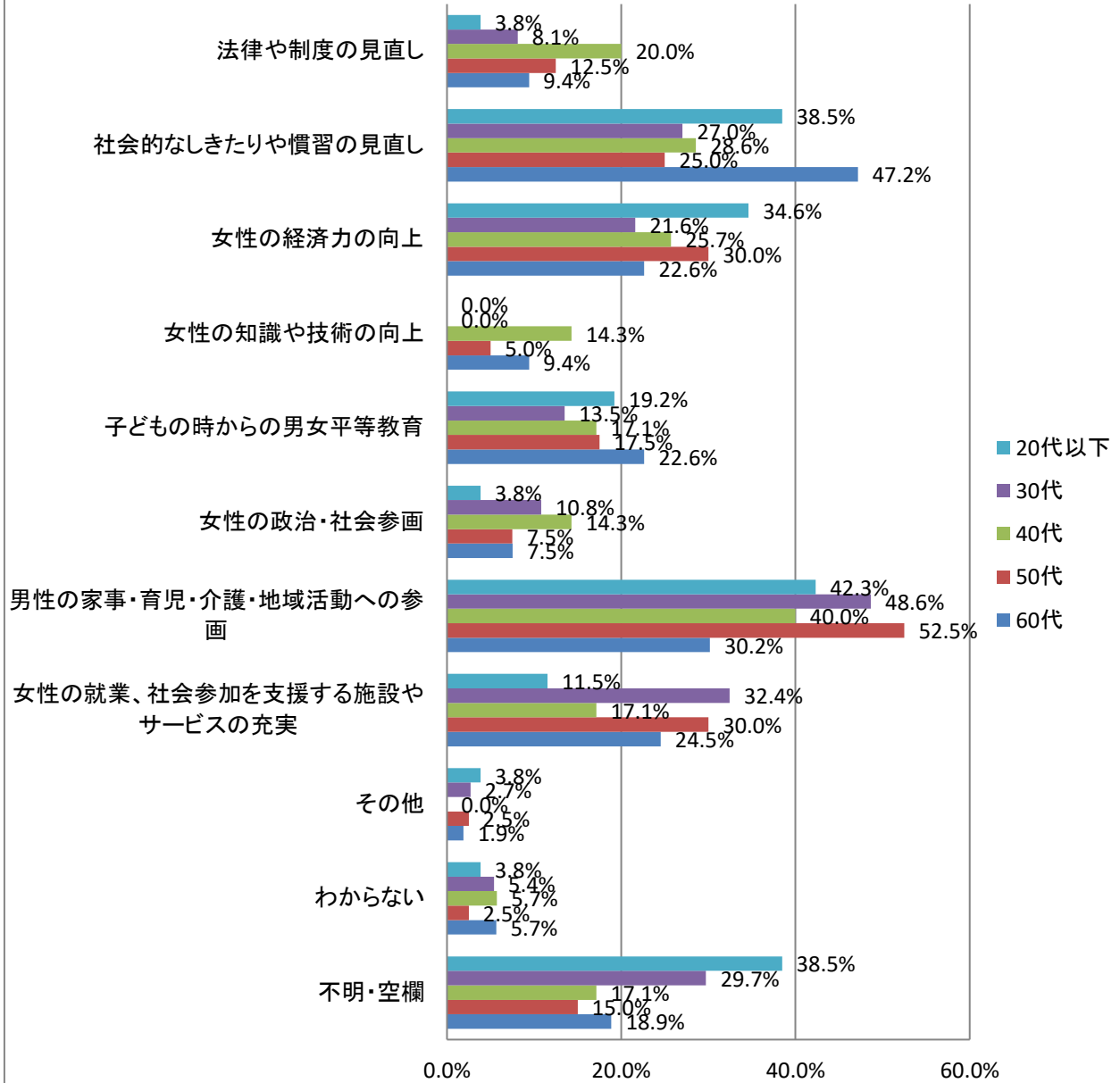




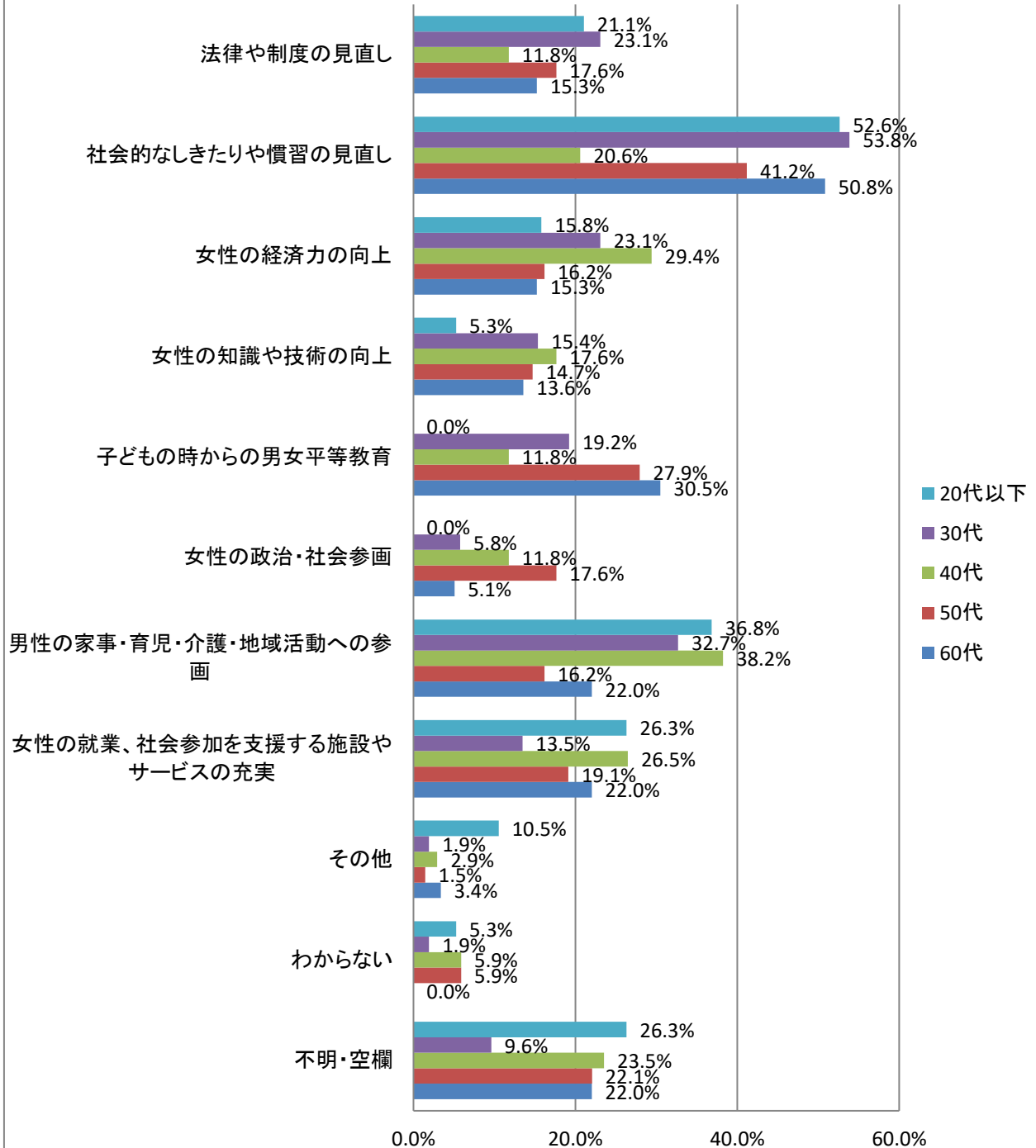
問17 男女が社会で平等になっていくために何が必要か？



## 問17 もっと平等になるために重要なこと (女性 年代別)



## 問17 もっと平等になるために重要なこと (男性 年代別)



## 7. 男女共同参画社会について

問 18 男女共同参画社会の実現のために行政が力を入れていくべきこと（上位3位）

総計：保育所や学童保育所等の施設サービスの充実（32.4%）

男性の家事、育児、介護への参加促進（28.6%）

制度の制定や見直し（22.2%）

男性：保育所や学童保育所等の施設サービスの充実（33.2%）

制度の制定や見直し（25.0%）

男性の家事、育児、介護への参加促進（23.7%）

女性：保育所や学童保育所等の施設サービスの充実（32.4%）

男性の家事、育児、介護への参加促進（28.6%）

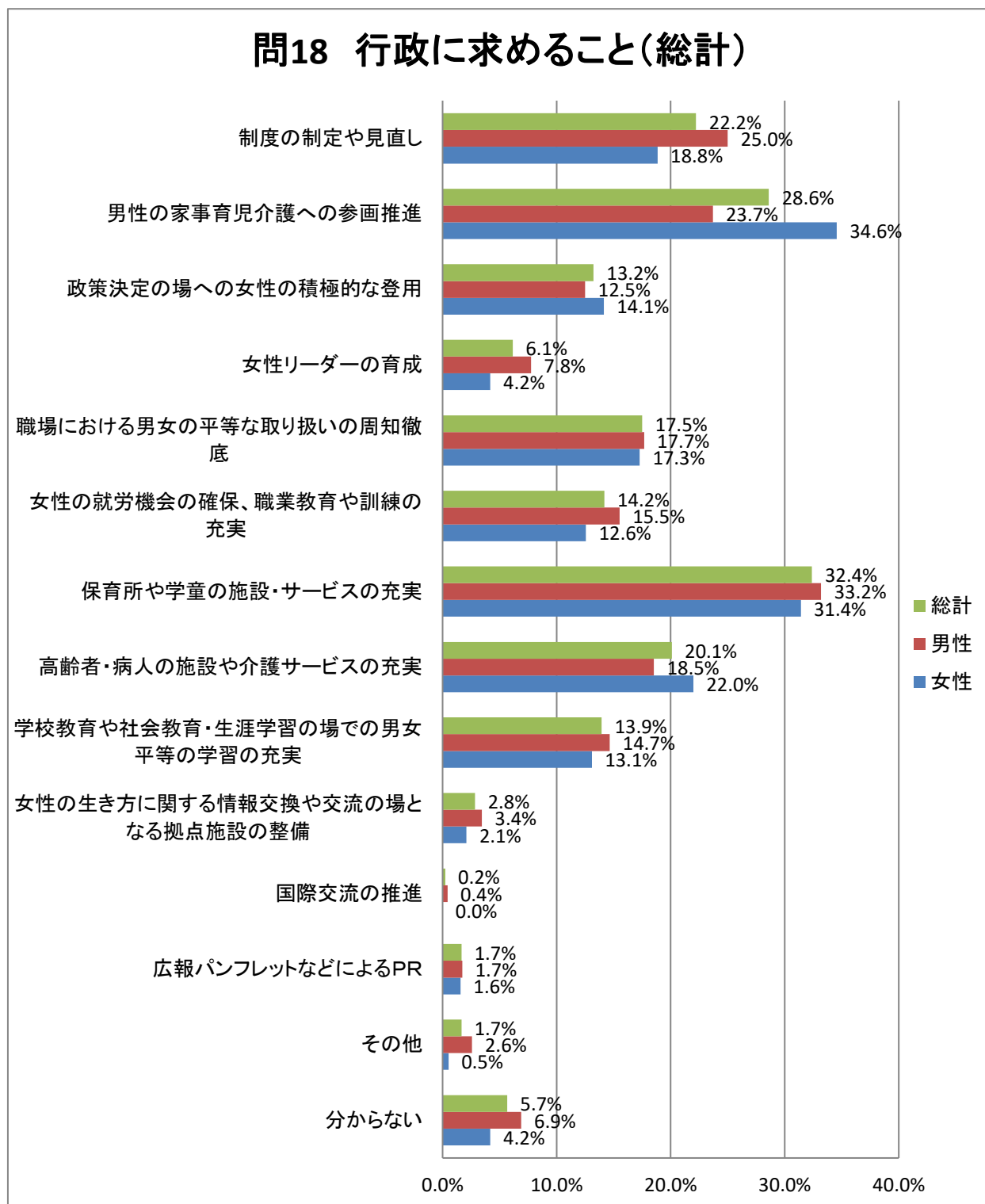
高齢者・病人の施設や介護サービスの充実（22.0%）

問 19 男女共同参画に関係の深い言葉について

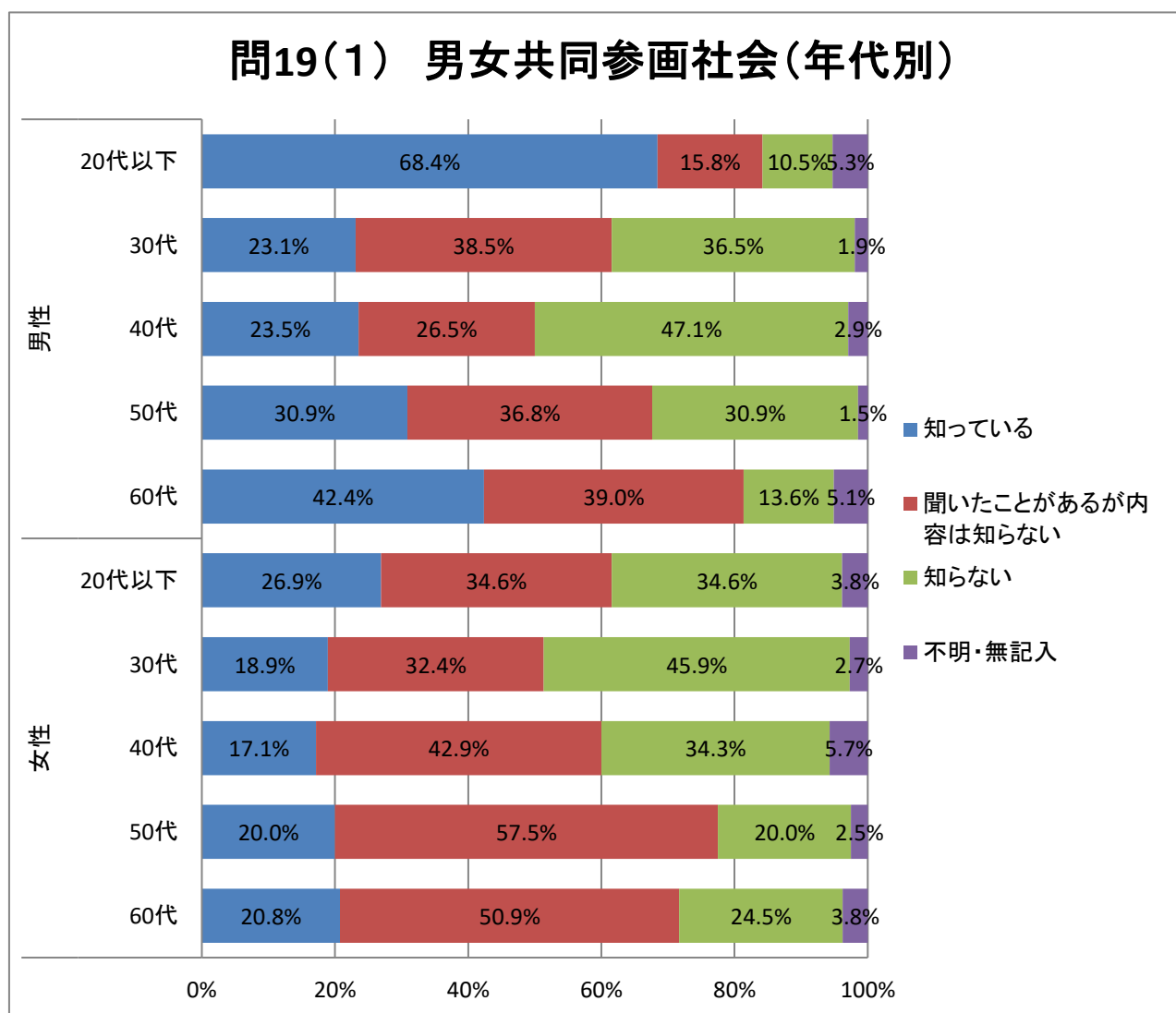
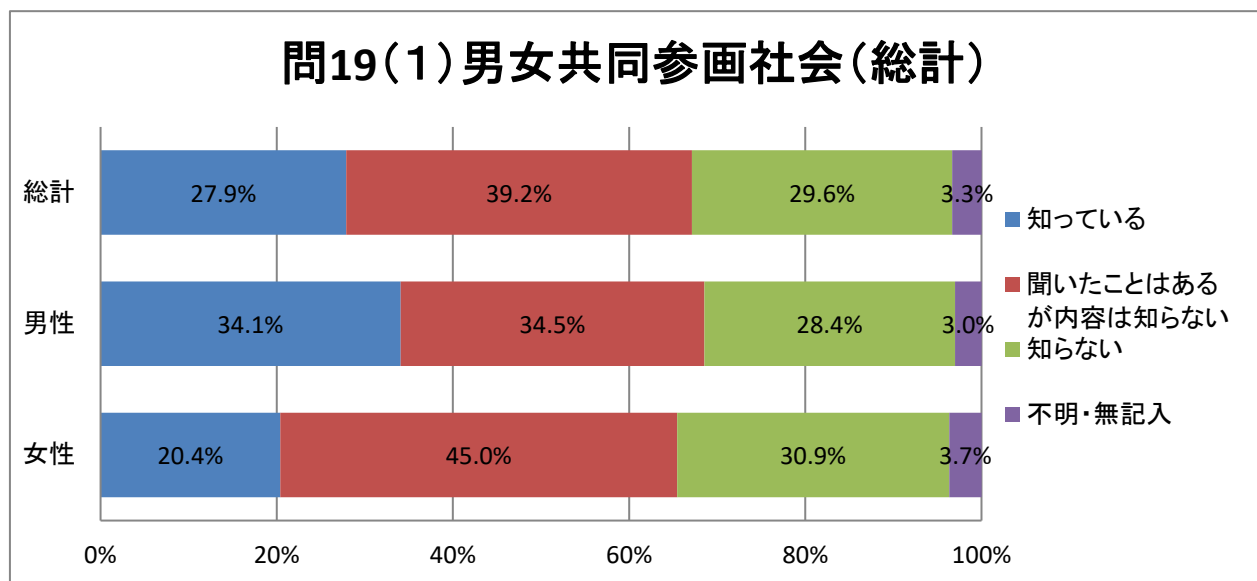
「内容を知っている」＋「聞いた事はあるが内容は知らない」を合わせて、多かった順

- 育児・介護休業法・・・80.6%
- 男女共同参画社会・・・67.1%
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）・・・54.8%
- ジェンダー（文化的・社会的に作られた性別）・・・39.9%
- 次世代育成支援対策推進法・・・35.9%
- ポジティブ・アクション（積極的改善措置）・・・34.7%
- きたかみ男女共同参画プラン・・・34.1%

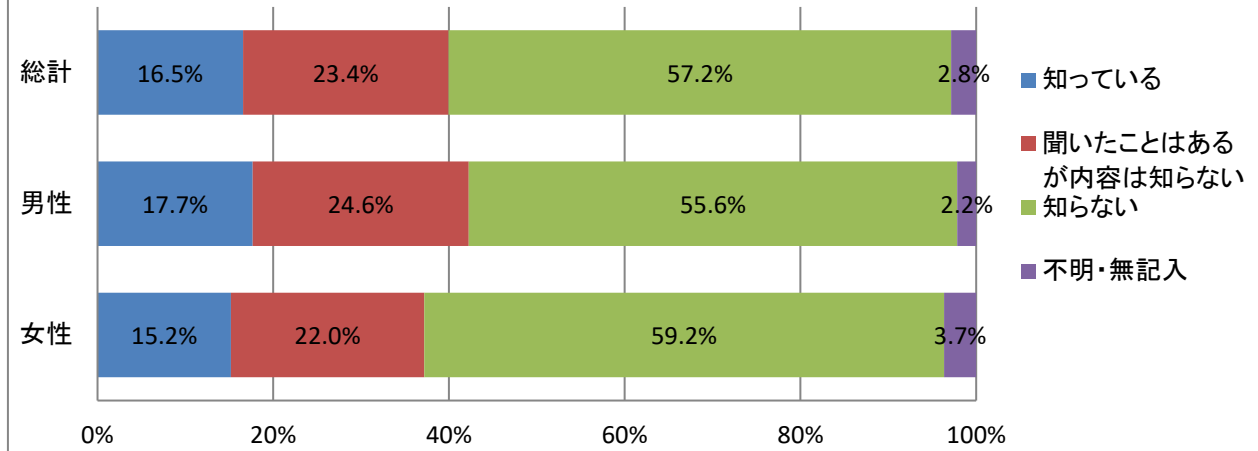
問18 あらゆる分野で男女が対等になっていくために行政に求めること



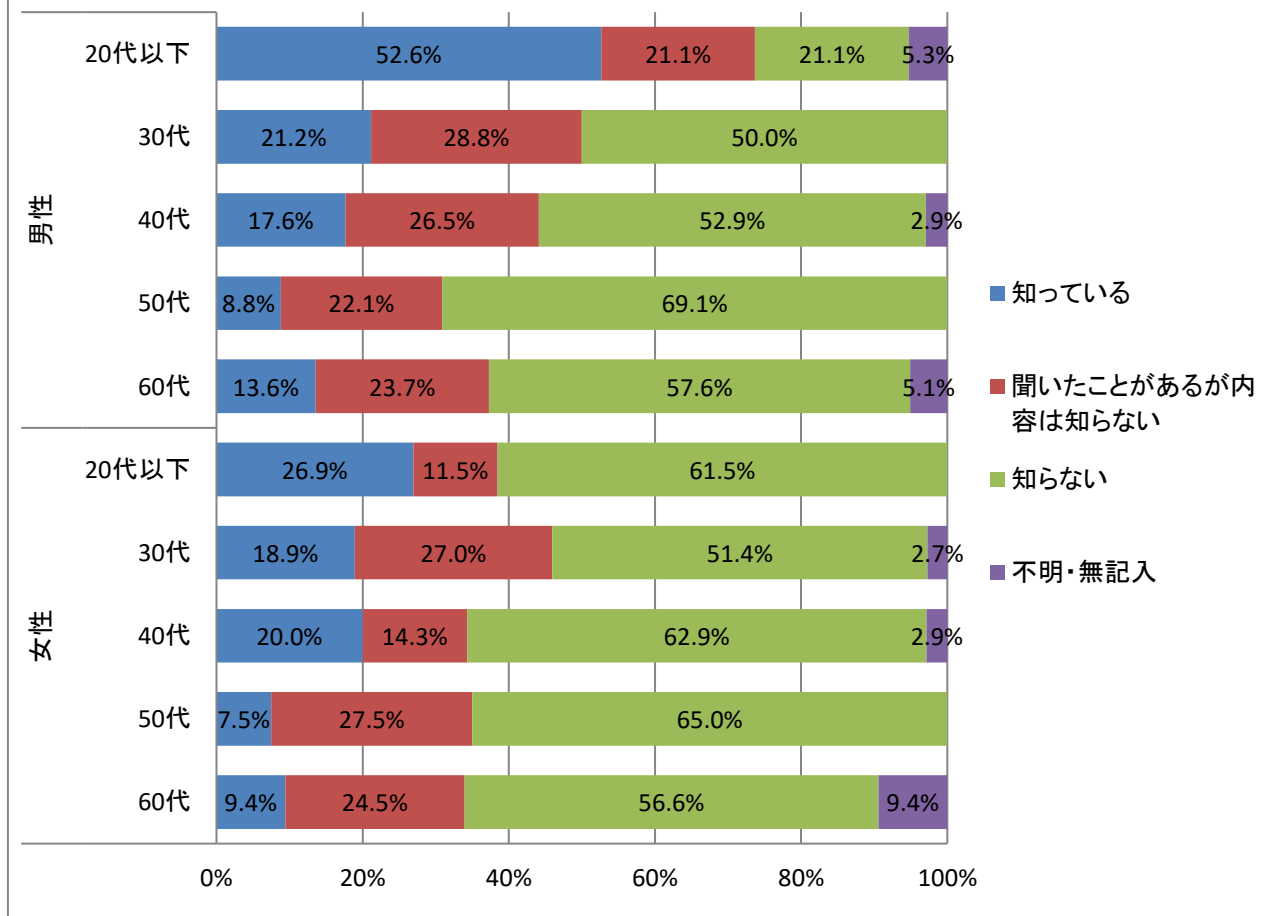
問19 次の言葉のうち知っている割合



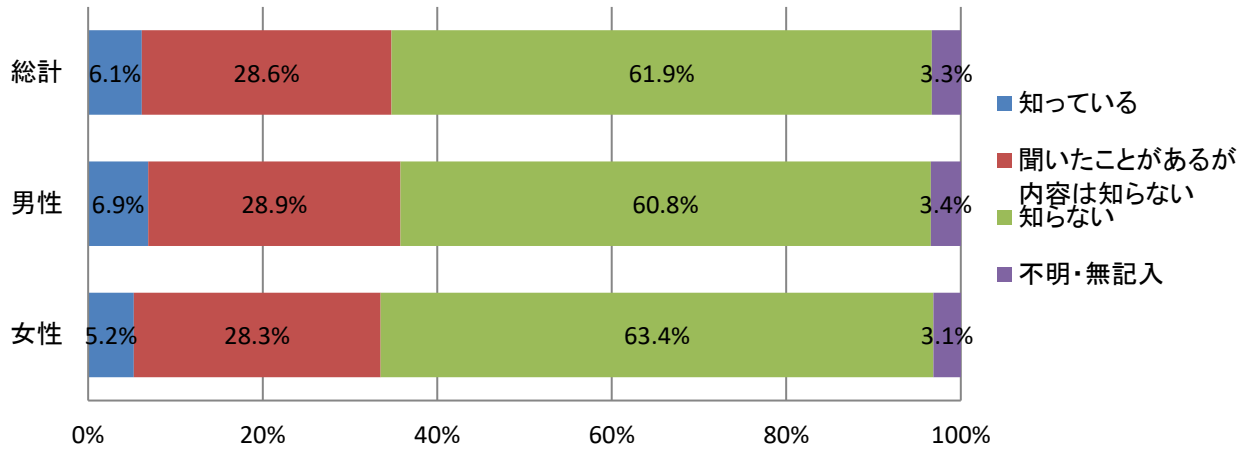
### 問19(2)ジェンダー(総計)



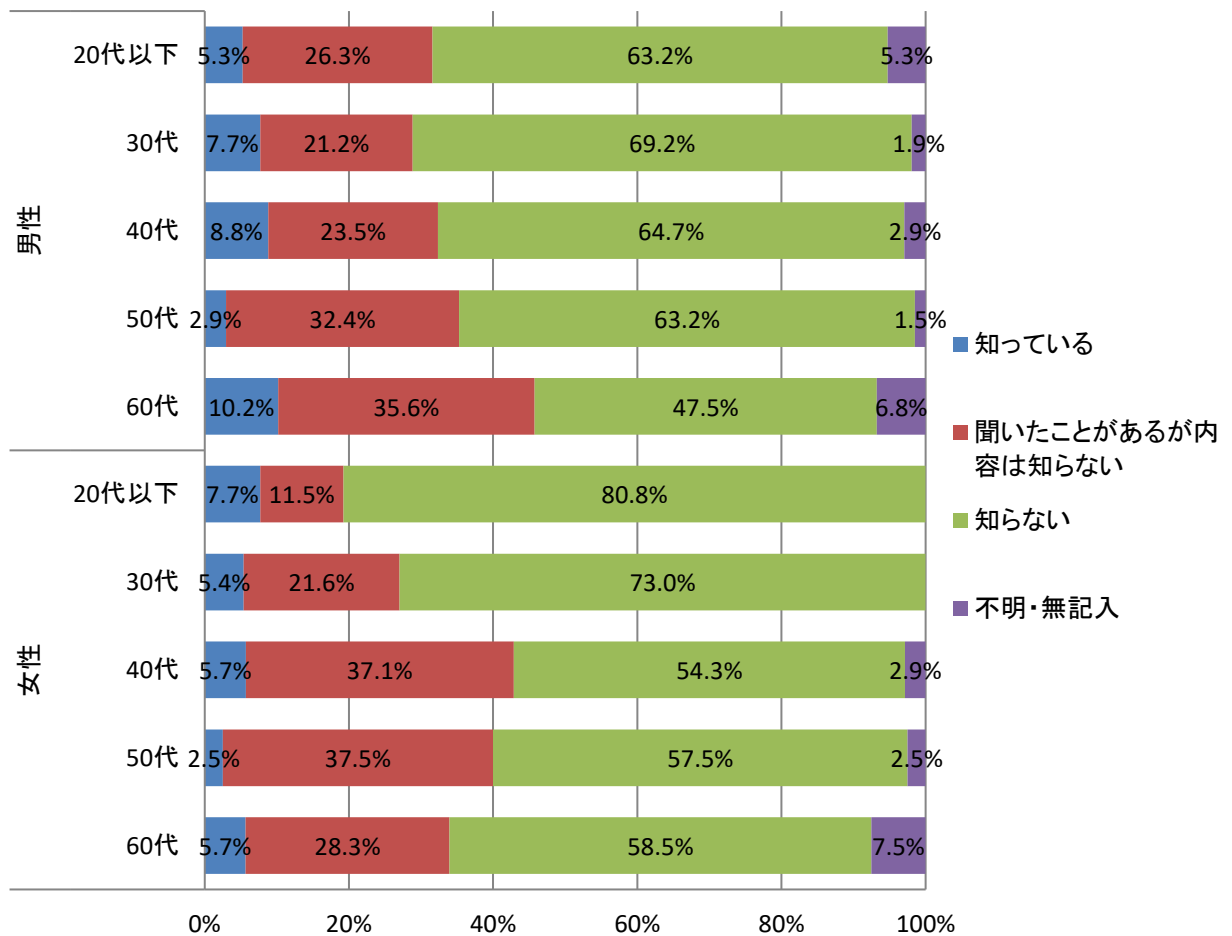
### 問19(2) ジェンダー(年代別)



### 問19(3)ポジティブアクション(総計)

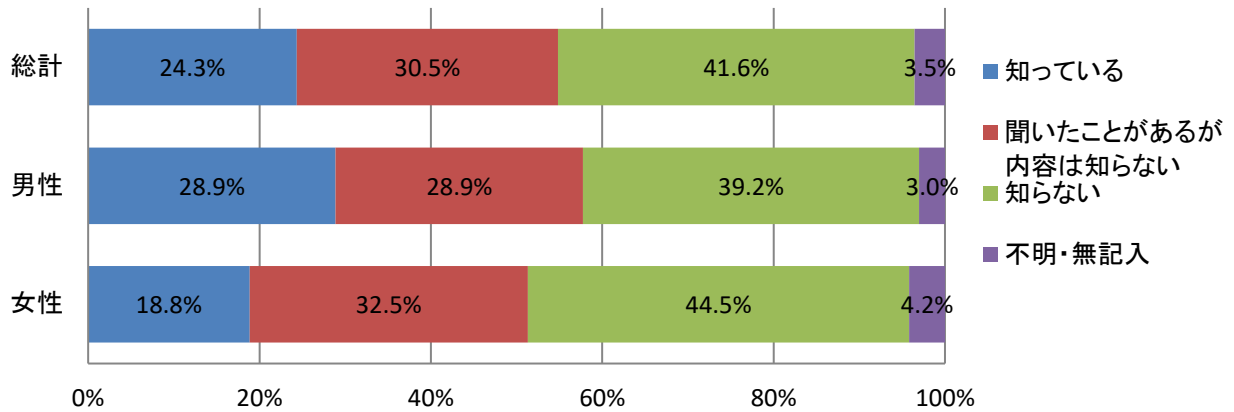


### 問19(3)ポジティブアクション(年代別)

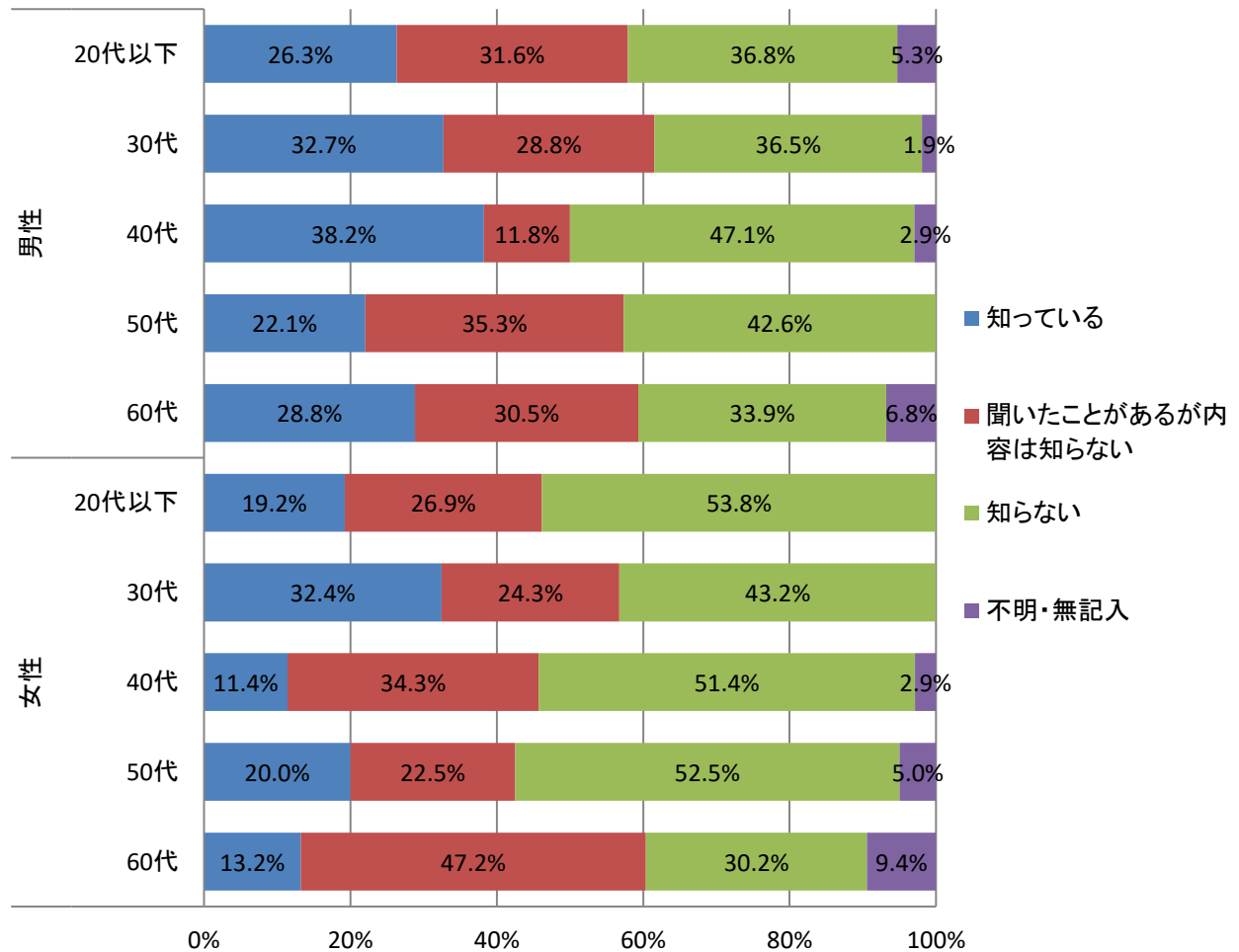




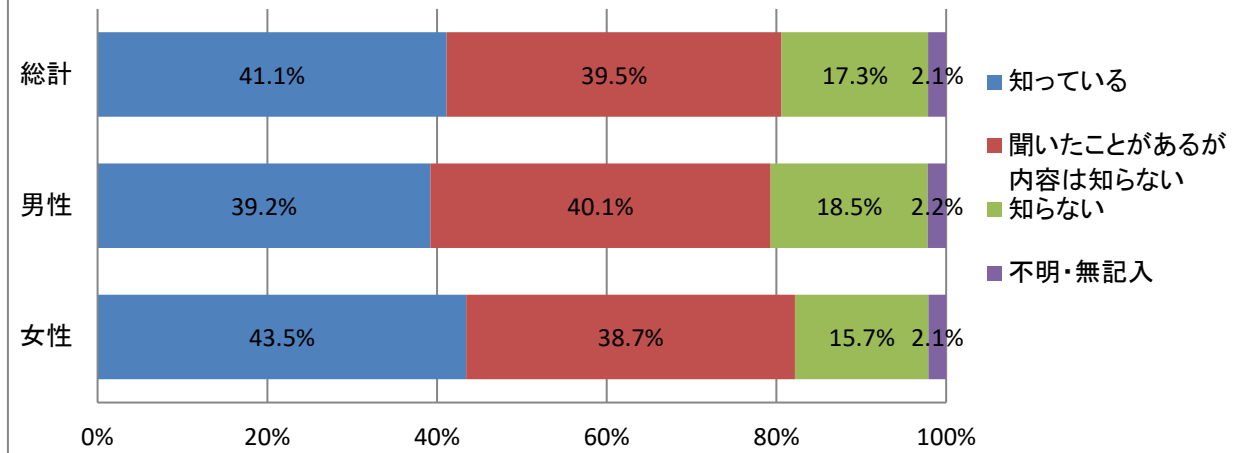
### 問19(4)ワーク・ライフ・バランス(総計)



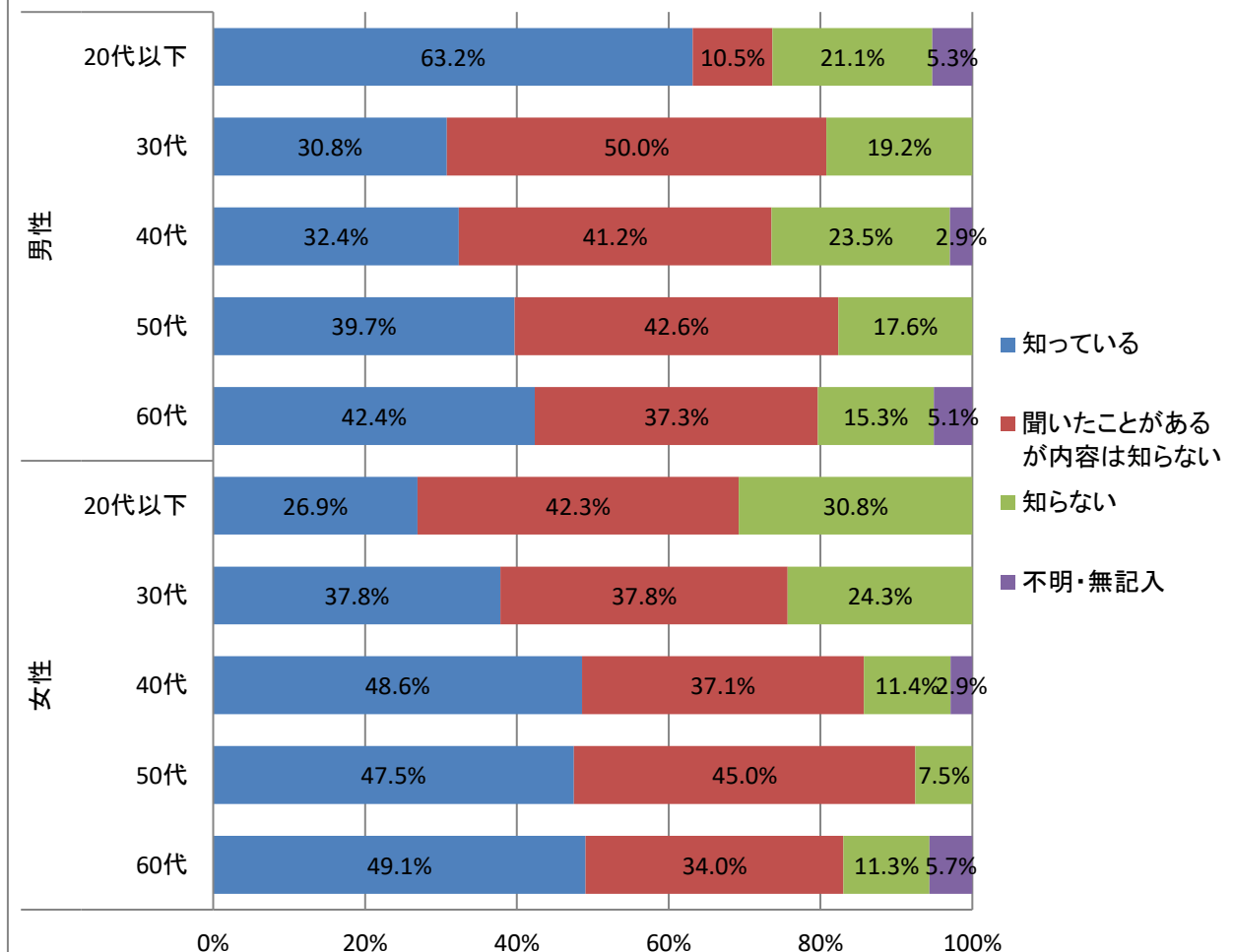
### 問19(4) ワーク・ライフ・バランス(年代別)



## 問19(5) 育児・介護休業法



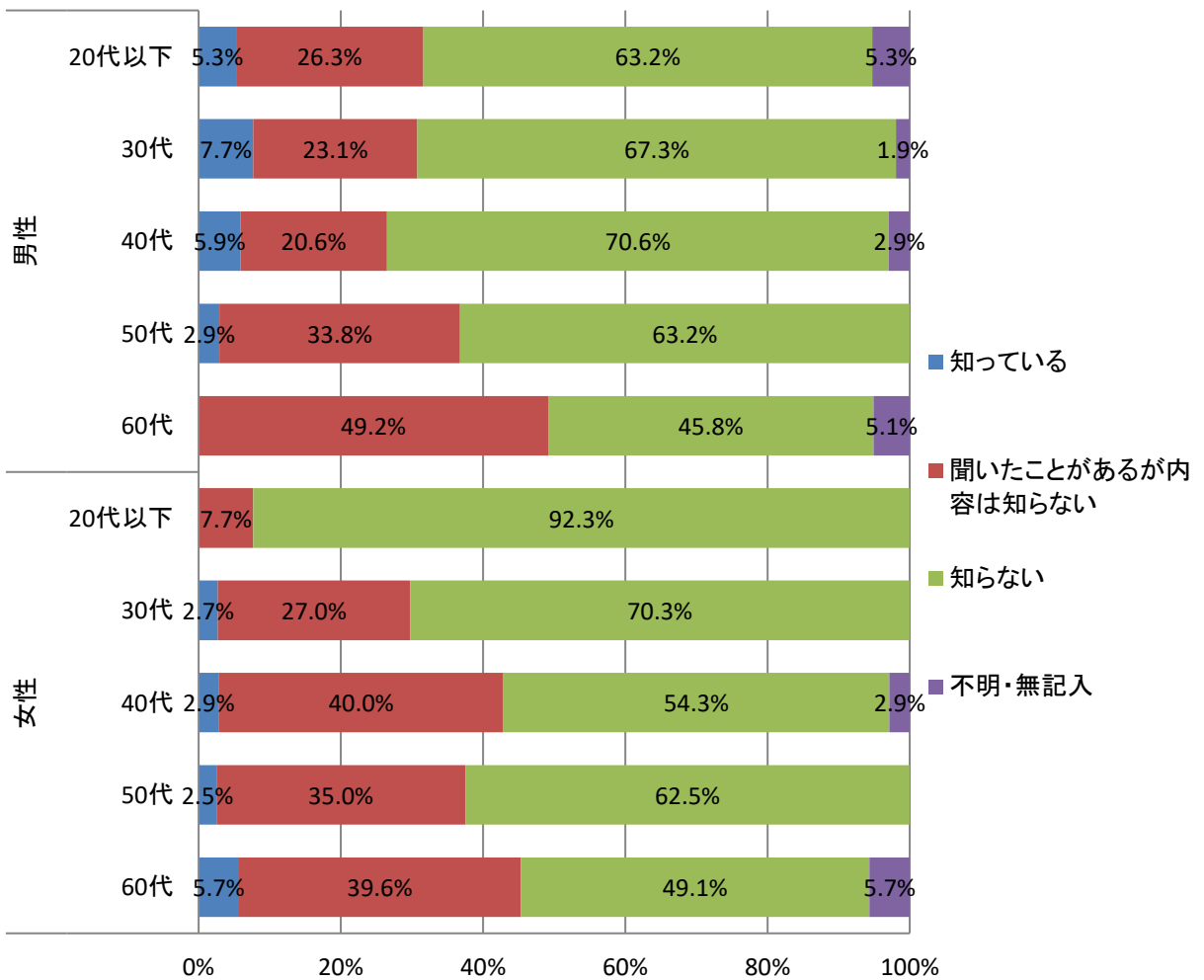
## 問19(5) 育児・介護休業法(年代別)



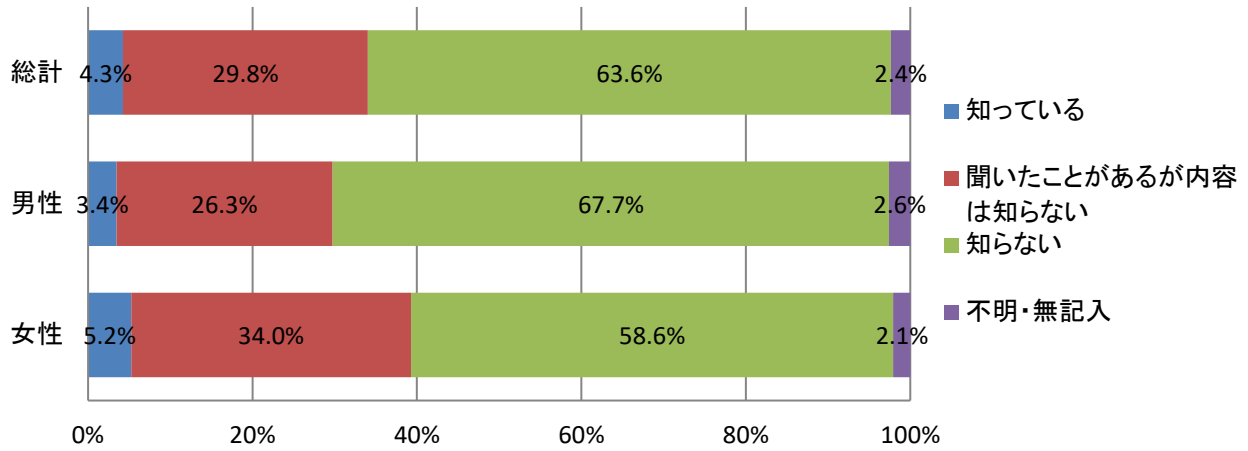
### 問19(6)次世代育成支援対策推進法(総計)



### 問19(6)次世代育成支援対策推進法(年代別)



### 問19(7) 男女共同参画プラン(総計)



### 問19(7) 男女共同参画プラン(年代別)

